

関西医科大学 広報



梅雨の晴れ間のオベリスク

創立記念日にはオベリスクの間隙から
銘板に光が差し込みます

Vol.50

CONTENTS

トピックス：本学における新型コロナウイルス感染症対応について

P.1

大学：研究最前線

P.23

大学：世界大学ランキングアジア版ランクイン

P.5

大学：チェンマイ大学看護学部と学術交流協定締結

P.25

大学：研究費助成事業交付内定者一覧他

P.11

病院：最新式ドクターカー運用開始

P.25

本学における新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大を受けて法人としての対応について

新型コロナウイルス感染症対策本部長 岡崎 和一

4月7日に発出されたCOVID-19に対する緊急非常事態宣言は5月25日に解除され、6月19日以降は都道府県境をまたぐ移動の自粛要請の解除やイベント実施の段階的解禁が続き、第2波、第3波に備える新しいフェーズに入りました。

この間、本学では地域医療を守り医療崩壊を防止すべく、山下敏夫理事長のリーダーシップのもと、オール関西医大として診療機能を各附属病院間で連携・分担してきました。すなわち、附属病院、香里病院、くずは病院の3病院は、本館一棟という建物構造からCOVID-19専用病棟の設置が困難なため、建物入口での発熱トリアージにより、感染疑いの患者は通常患者とは隔離された発熱外来で対応しつつ、大学病院に課せられた通常診療を

継続する役割を担いました。一方、総合医療センターでは、感染対策上、人の導線や建物配置などの立地条件が良い南館(1F)において、発熱外来に加えて帰国者・接触者外来を設置し、さらに行政の要請により入院治療を要する中等症にくわえ、多くの重症感染患者を積極的に受け入れて、地域医療に大きく貢献しています。

さらに、感染対策や人的資源および医療資源の状況、国内外の状況に対する情報を共有し、諸対策をより合理的かつ迅速に進めることを目的として、法人全体を包括する新型コロナウイルス感染症対策本部が理事長命令にて2020年3月25日に発足しています。

引き続き、第2波、第3波に備えるべく全学を挙げた協力と支援が必要です。どうぞ宜しくお願いします。

大 学

新入生向け学長メッセージ

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、中止を余儀なくされた入学式に代えて、友田幸一学長から新入生の皆さんへの動画によるお祝いの学長メッセージを公開いたしました。

右記QRコードからご覧ください。



令和2年度e-新入生歓迎式開催

6月6日(土) 14時から医学部の、5月28日(木) 13時から看護学部・大学院看護学研究科の、Zoom 配信やTeams を利用したe-新入生歓迎式がそれぞれ開催されました。

医学部ではまず新入生全員の紹介がスライドで流され、友田幸一学長の挨拶に引き続いて野村昌作医学部教務部長、西山利正学生部長の挨拶、そして新入生代表の誓いのことば、在学生代表の歓迎のことばが配信されました。

看護学部・大学院看護学研究科では友田学長挨拶に引き続き片田範子学部長・研究科長挨拶が行われ、また学部・研究科それぞれの新入生代表宣誓と在学生歓迎メッセージが配信されました。教職員の紹介も行われ、新入生たちにとっては初めての、これから学ぶ教員の顔を一人ひとり見る機会となりました。



WEBを通して挨拶をする友田学長



WEBを通して挨拶をする片田看護学部長・研究科長



コロナ禍における医学部での遠隔授業

医学教育センターセンター長 西屋 克己

新型コロナウイルス感染症の流行により、対面講義や実習は中止となり、全面的に遠隔授業を導入する必要に迫られました。本学医学部ではICTを活用した学習システムであり、講義前にアップロードした資料を学生と共有することができる「KMULAS (カムラス)」およびテレビ会議システムであるTeamsを活用し遠隔授業を実施しました。

医学部での遠隔授業は表の通り、緊急対応の暫定実施期、オンデマンド型と同時配信型を取り入れた本格実施期、一部対面授業が可能となった対面・遠隔併用期のフェーズで実施しました。暫定実施期では学生はKMULASにアップロードされた講義動画などを学習した上で課題に取り組みました。本格実施期ではオンデマンドでKMULAS上の講義動画を学習した上で課題に取り組みむか、Teamsを活用して同時配信された講義を受講して課題に取り組みました。対面・遠隔併用期では学年の半分は対面講義、半分は登校せず対面講義の同時配信としました。臨床実習においても概ね同様の方針でしたが、感染対策の点から対面・遠隔併用期での対面実習は見学型となり登校日数も制限されました。教員には新たな負担をお願いすることとなりましたが、学生アンケート結果から遠隔講義の受け入れは良好でした。また、今回の遠隔授業の経験は講義のあり方を振り返る契機となり、反転授業(知識の伝達は予習動画で行い、対面講義では知識の活用を実践していく)などの新しい授業方略が今後求められることとなるでしょう。

表 医学部における遠隔授業の流れ

4月 7日	緊急事態宣言発令
4月 7日	第1回遠隔授業FD
4月13日～	KMULAS進級ガイダンス実施
4月14日～	遠隔臨床実習開始
4月17日～	遠隔授業開始(暫定実施期)
4月30日	第2回FD
5月 1日	6年Teams試行配信
5月 4日	緊急事態宣言延長
5月14日	大阪府大学休業要請解除
5月21日	大阪府緊急事態宣言解除
5月11日～	遠隔講義延長
5月18日～	Teams運用開始(本格実施期)
5月29日	第3回FD
6月 4日～	対面授業に向けたガイダンス開始
6月 8日～	対面授業併用開始(対面・遠隔併用期)



Zoomを用いた遠隔授業 (看護学部)

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、ICTを活用したビデオ会議サービス「Zoom」を使用し、遠隔授業を実施しました。

講義資料等はKMULASにて事前に配信。学生は講義時間にZoomに参加し遠隔授業に臨みました。

臨床実習を行う6学年全員へのPCR検査実施について

医学部6学年の学生を対象に、院内感染を防ぐとともに学生間で感染する危惧を払拭し、臨床実習ならびにグループ学習を可能とするため、新型コロナウイルスPCR検査を実施しました。その結果、受検者全員の陰性が確認されました。今後、医学部の他学年、看護学部学生のPCR検査も順次実施する予定です。

本学の新型コロナウイルス感染症に関する対応

対象者	対 応
医学部・看護学部新入生	<ul style="list-style-type: none"> 入学式の中止 オリエンテーション、ガイダンスの中止 新入生合宿研修の中止 <ul style="list-style-type: none"> 「e-新入生歓迎式」の実施 ※ P.1 参照 学長メッセージ動画の公開 ※ P.1 参照 毎日の検温、健康管理の実施
全学年学生	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断の延期 学舎・附属医療機関内への原則立入禁止 対面授業の開始延期、遠隔授業の実施 クラブ・サークルなど課外活動の中止 <ul style="list-style-type: none"> 登校時のマスク着用、手指消毒の徹底 講義時の換気励行、空席の確保 困窮学生に対する経済支援制度の案内 国内外への旅行自粛
医学部5・6学年学生	<ul style="list-style-type: none"> 臨床実習の延期
教職員	<ul style="list-style-type: none"> 学会、学外会議への出席自粛 国内外への旅行自粛 <ul style="list-style-type: none"> 学内会議の開催見直し 食堂の利用ルール変更

病 院

玄関での検温について

本学の附属医療機関では玄関での検温を実施。アルコール消毒液も設置し、来院者に手指衛生をお願いしたほか、附属病院では玄関にサーモグラフィを設置して患者さんの体温チェックを実施するなど、感染対策に取り組みました。



玄関での検温の様子

発熱外来の設置について

本学の附属医療機関に発熱外来を設置し、発熱やその他せき・たん・呼吸困難、におい・味覚障がい等、感染が疑われる症状のある患者さんの診療を行いました。



総合医療センターに設置された発熱外来のテント

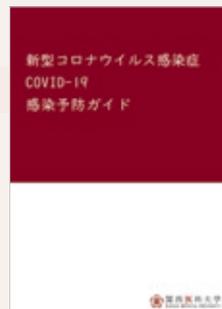
手術患者さんのPCR検査実施について

附属病院では、全身麻酔を用いた手術、出産、気管支鏡検査、口や鼻周辺の局所麻酔を用いた手術などに対して4月22日(水)から全件PCR検査を実施。総合医療センター、香里病院においても、全身麻酔症例を対象に術前PCR検査が行われています。また、事前にスクリーニングを行い発熱や風邪様症状のある患者さんは手術を延期し、重篤化リスクを未然に回避しました。これまでに術前PCR検査が行われた症例では、結果はすべて陰性でした。

新型コロナウイルス感染症 感染予防ガイドの公開について

患者さんやご家族様、一般の方に向けた新型コロナウイルス感染症予防ガイドブックを公開しています。

これは本学医師や看護師が監修し、新型コロナウイルス感染症の予防や、疑い症例となった場合の過ごし方などについてわかりやすくイラスト付きで解説した冊子です。右記QRコードからご覧ください。



ガイドブックの表紙

そ の 他

メディア出演情報

3月～6月にかけて、衛生・公衆衛生学講座西山利正教授や内科学第一講座(附属病院呼吸器感染症内科)宮下修行診療教授を中心に健康科学教室木村穰教授や、衛生・公衆衛生学講座三島伸介助教が多い週では連続4日間、複数番組でコメントするなど合計33回テレビに出演しました。また、新聞各紙において計7回のコメント回答などを行いました。(P.27参照)



西山 利正 教授



宮下 修行 診療教授

新入生クラブ勧誘をオンラインで実施

6月23日(火)・25(木)17時から、枚方学舎医学部棟1階オープンラウンジにおいて、オンラインクラブ勧誘が開かれました。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、例年対面で行われていた新入生に対するクラブ勧誘の実施が危ぶまれていたところ、学生自治会が独自に発案・企画したものです。各クラブの代表者がそれぞれのユニフォームを着用し、ラケットや弓などの用具を手にするなどして、Teams・Zoomに自宅からアクセスした新1回生へクラブ活動のアピールを行いました。

令和元年度事業報告

本学の令和元年度事業報告をとりまとめ、公表しました。主な内容は以下の通りです。

今後は、タワー棟建設やリハビリテーション学部(仮称)設置準備、「新医学研究所設置検討作業部会」の設置なども踏まえ、さらなる教育・研究・診療の充実をめざします。

法人

タワー棟建設計画
リハビリテーション学部設置準備

教育

- 医学部・医学研究科
 - ・分野別認証評価受審への対応
 - ・新カリキュラムの運用
 - ・修士課程設置認可申請書類文部科学省提出(医学研究科)
- 看護学部・看護学研究科
 - ・関連病院・地域での実習実施
 - ・学生交流プログラム「短期交換派遣留学」計画検討
 - ・ナース・プラクティショナー養成大学院への研修派遣計画検討(看護学研究科)

診療

- 附属病院
 - ・病院機能拡充検討
 - ・医療機器更新
 - ・救急医療充実
 - ・介護福祉部門立上げ
- 総合医療センター
 - ・地域医療支援病院承認
 - ・患者安全に向かう組織文化の醸成
- 香里病院
 - ・診療機能強化
 - ・診療情報分析部門の強化
- くずは病院
 - ・介護・福祉事業強化
- 天満橋総合クリニック
 - ・感染症流行の影響を受けにくい診療体制準備

研究

私立大学研究ブランディング事業展開
「私立大学等改革総合支援事業」採択
臨床系総合研究施設内にバイオバンクセンター設置決定

令和元年度・令和2年度の内部監査

内部監査室長 稲垣千代子

令和元年度内部監査を下記の項目で実施し、その報告及び令和2年度内部監査計画を理事長に提出して承認されました。本年度の内部監査も本学の業務が合法的且つ合理的・効率的に遂行されることを目指して評価し、本学の発展に資する助言ができるよう努めます。

1、令和元年度内部監査

以下の項目について点検・調査し、問題点の改善に向けて助言しました。

年次監査

- 1) 「公的研究費の管理状況(平成30年度対象)」
- 2) 「公的研究費管理のモニタリング(令和元年度対象)」
- 3) 「研究助成金の管理状況」
- 4) 「私立大学ブランディング経費の管理状況」

選定理由：「公的研究費の管理・監査体制に関する規程」第18条に定める内部監査

2) 監査項目：「災害対応体制」

監査対象部門：本学全施設

監査日程：令和2年9月～11月

選定理由：平成24年度内部監査「災害対応体制」以降の整備状況・現状点検

3) 監査項目：「公的研究費管理のモニタリング(令和2年度対象)」

監査対象部門：研究部研究課及び関連部門

監査日程：令和2年12月～令和3年2月

選定理由：「公的研究費の管理・監査体制に関する規程」第18条に定めるモニタリング

以上

2、令和2年度内部監査計画(年次監査)

- 1) 監査項目：「公的研究費の管理状況(令和元年度対象)」
監査対象部門：研究部研究課及び関連部門
監査日程：令和2年7月～8月

世界大学ランキングアジア版にランクイン



6月3日(水)、英国の高等教育専門誌「タイムズ・ハイアー・エデュケーション(THE)」が実施・集計したTHEアジア大学ランキング2020が発表されました。

その結果、本学は『128』位にランクインしました。同ランキング2019の『201 - 250位』からランクアップ

しており、国内では国公立の総合大学を含めて15位^{※1}、関西地区では3位^{※2}という位置です。

このランキングは、毎年公表されている国際的な大学ランキングのアジア版であり、教育力、研究力、研究の影響力(被引用論文)、国際性、産業界からの収入の5分野をスコア化し、総合力を図ったもので、他のランキングと比べて研究力と教育力に比重を置いた評価が特徴です。

「教育」の比重は世界ランキング30%に対しアジアランキング25%、「産業界からの収入」の比重は世界ランキング2.5%に対しアジアランキング7.5%。これにより、相対的な順位が世界ランキングとは一部、異なっています。今回評価項目の中で、本学は「研究の影響力(論文の被引用数)」において特に高い評価を得ました。

	Rank (順位)	Scores (スコア)					
		Overall (総合)	Teaching (教育力)	Research (研究力)	Citations (被引用論文)	Industry Income (産業界からの収入)	International Outlook (国際性)
2020	128	37.7	38.3	10.5	70.0	35.6	17.7
2019	201 - 250	23.9 - 26.7	34.2	9.7	30.3	34.5	16.9
2018	201 - 250	21.4 - 23.9	32.2	8.7	28.4	32.2	16.8

※1 東京大学、京都大学、東北大学、名古屋大学、東京工業大学、大阪大学、産業医科大学、東京医科歯科大学、九州大学、藤田医科大学、帝京大学、筑波大学、横浜市立大学、北海道大学に次いで15位

※2 京都大学、大阪大学に次いで3位

慈仁会役員・看護学部保護者会役員について

本年度の慈仁会及び看護学部保護者会主要役員は以下の方々です。

令和2年度慈仁会主要役員	
・委員長 宮島 茂夫	・会計 月川 裕恵
・監事 田鍋 貴子	・監事 羽原 弘造

2020年度看護学部保護者会主要役員			
・会長 藍原 雅代	・会計 弘中 礼子	・監事 後藤 宏美	・監事 村尾美紀子
・理事 三宅 千鶴	・理事 橋本 廣明	・理事 後藤 千秋	・理事 村本 郁子
・理事 山本 綾	・理事 吉松 佳子		

名誉教授称号授与式

本学名誉教授称号授与規程の定めるところにより、教授会の議を経て、岡崎和一内科学第三講座前教授、日下博文神経内科学講座前教授、岡本祐之皮膚科学講座前教授、高山康夫前理事長特命教授へ、それぞれ名誉教授の称号が授与されることとなりました。

6月16日(火)、6月25日(木)に枚方学舎医学部棟13階応接室において、名誉教授称号授与式が執り行われ、友田幸一学長から名誉教授称号が岡崎内科学第三講座前教授、岡本皮膚科学講座前教授、高山前理事長特命教授にそれぞれ授与されました。

※日下神経内科学講座前教授は所用によりご欠席



岡崎内科学第三講座前教授(左)、友田学長(中)、高山前理事長特命教授(右)



友田学長(左)、岡本皮膚科学講座前教授(右)



「施設設備整備拡充資金」の募集のご案内

本学の未来のため、学生の学びのために、皆様のご協力をお願い申し上げます。

【募集要項】

募金の目的： 関西医科大学施設設備拡充資金
 募集主体： 学校法人関西医科大学
 募集対象： 本学学生の保護者、同窓会員、
 本学関連の個人および法人、そのほか
 募集期間： 令和3年3月末日まで

詳しくは、大学公式Webサイト
 (<http://www.kmu.ac.jp/donation/index.html>)をご覧ください。
 募金室へお問い合わせください。

【税制上の優遇措置】

●個人の場合
 所得税・住民税が合計で最大40%が減額されます。

●法人の場合
 受配者指定寄付金制度を利用すると寄付金全額を損
 金算入できます。

なお、この募金の応募は任意です。

令和2年4月から令和2年6月までにご寄付いただきました方々のご芳名(五十音順)を掲載させていただきます。ご芳志に対して
 衷心より感謝申し上げます。

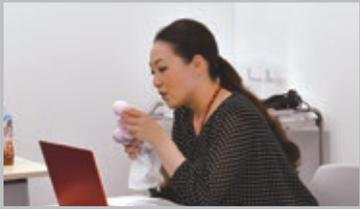
ご芳名のwebサイトでの掲載は控えさせていただきます。

遺贈・相続財産によるご寄付も承ります

【お問い合わせ先】

関西医科大学法人事務局財務部募金室
 〒573-1010 大阪府枚方市新町二丁目5番1号
 TEL：072-804-2146 FAX：072-804-2344
 メール：bokin@hirakata.kmu.ac.jp

今号掲載期間の主な出来事をご紹介します (記事掲載はオレンジ太字)

大学	5月28日	看護学部e-新入生歓迎式	 チェンマイ大学との協定書署名	
	5月29日	看護学部FD部会主催研修会(Web)開催		
	6月6日	医学部e-新入生歓迎式・藤森民子賞授与式		
	6月8日	チェンマイ大学との協定書署名		
	6月10日	ママ・パパクラスオンライン開催		 ママ・パパクラス
	6月16日、25日	名誉教授称号授与式		
	6月20日	医学部新任教員教育FD開催(Web)開催		
附属病院	6月23日、25日	オンラインクラブ勧誘	 オンラインクラブ勧誘	
	3月31日、4月22日	歯科口腔外科、がんセンター診察室増室		
総合医療センター	4月1日	ドクターカー更新		

※2020年6月1日現在（変更の可能性有り）

2020年度 医学部教務関係日程表

1学年	
4/4(土)	入学式（中止）
4/6(月)~4/8(水)	新入生ガイダンス
4/9(木)・4/10(金)	合宿研修（中止）
4/13(月)	1学期開講
5/4(月)~5/6(水)	休講（5月連休）
6/6(土)	e-新入生歓迎式
6/13(土)	新入生健康診断
6/30(火)	創立記念日
7/16(木)~7/22(水)	試験期間
7/22(水)	1学期終講
7/27(月)~8/21(金)	夏季休業
8/24(月)	2学期開講
8/24(月)~8/26(水)	試験期間
10/30(金)~11/1(日)	大学祭
11/30(月)~12/4(金)	早期医療実習
12/15(火)	2学期終講
12/16(水)~1/2(土)	冬季休業
1/4(月)	3学期開講
1/4(月)・1/5(火)	試験期間
1/22(金)~2/26(金)	試験期間
2/26(金)	総合試験
2/26(金)	3学期終講
3/3(水)	卒業式

2学年	
4/6(月)	1学期開講
5/4(月)~5/6(水)	休講（5月連休）
6/30(火)	創立記念日
7/20(月)~7/21(火)	試験期間
7/21(火)	1学期終講
7/22(水)~8/21(金)	夏季休業
8/5(水)・8/6(木)	学生定期健康診断
8/24(月)	2学期開講
8/24(月)~8/31(月)	試験期間
10/15(木)	解剖体追悼法要
10/30(金)~11/1(日)	大学祭
12/8(火)~12/17(木)	試験期間
12/17(木)	2学期終講
12/18(金)~1/2(土)	冬季休業
1/4(月)	3学期開講
2/1(月)~2/26(金)	試験期間
2/25(木)	総合試験
2/26(金)	3学期終講
3/3(水)	卒業式

3学年	
4/6(月)	1学期開講
5/4(月)~5/6(水)	休講（5月連休）
6/30(火)	創立記念日
7/27(月)~7/31(金)	試験期間
7/31(金)	1学期終講
8/3(月)~8/21(金)	夏季休業
8/4(火)	学生定期健康診断
8/24(月)	2学期開講
10/15(木)	解剖体追悼法要
10/30(金)~11/1(日)	大学祭
12/14(月)~12/21(月)	試験期間
12/21(月)	2学期終講
12/22(火)~1/2(土)	冬季休業
1/4(月)	3学期開講
1/19(火)~2/19(金)	配属実習
3/1(月)	総合試験
3/1(月)	3学期終講
3/3(水)	卒業式

4学年	
4/6(月)	1学期開講
5/4(月)~5/6(水)	休講（5月連休）
6/30(火)	創立記念日
7/20(月)~7/31(金)	試験期間
7/31(金)	1学期終講
8/3(月)~8/21(金)	夏季休業

4学年	
8/5(水)	学生定期健康診断
8/21(金)	2学期開講
10/30(金)~11/1(日)	大学祭
12/14(月)~12/21(月)	試験期間
12/21(月)	2学期終講
12/22(火)~1/2(土)	冬季休業
1/4(月)	3学期開講
1/13(水)	共用試験CBT
2/20(土)	共用試験OSCE
2/15(月)~2/26(金)	プレクリニカル・クラークシップ
2/26(金)	3学期終講
3/3(水)	卒業式

5学年	
4/6(月)	1学期開講
4/6(月)~3/12(金)	臨床実習
5/4(月)~5/6(水)	休講（5月連休）
6/30(火)	創立記念日
7/17(金)	1学期終講
7/20(月)~8/21(金)	夏季休業（期間内に社会医学実習）
未定	CC中間検討会
8/3(月)・8/4(火)	学生定期健康診断
8/24(月)	2学期開講
11/21(土)	中間試験
12/25(金)	2学期終講
12/28(月)~1/1(金)	冬季休業
1/4(月)	3学期開講
3/3(水)	卒業式
3/15(月)	クリニカル・クラークシップ総合試験
3/15(月)	3学期終講

6学年	
4/6(月)	1学期開講
4/6(月)~7/17(金)	臨床実習
5/4(月)~5/6(水)	休講（5月連休）
6/30(火)	創立記念日
7/17(金)	1学期終講
7/20(月)~8/24(月)	夏季休業
8/6(木)	学生定期健康診断
8/25(火)	2学期開講
8/25(火)	卒業試験①
8/27(木)~11/13(金)	まとめの講義（予備・自習含む）
10/3(土)	Post-CC OSCE
10/21(水)・10/22(木)	卒業試験②
11/17(火)・11/18(水)	卒業試験③
11/20(金)	2学期終講
11/24(火)	冬季休業開始（以降自習期間）
12/24(木)	第2回卒業判定用試験
3/3(水)	卒業式

2020年度 看護学部教務関係日程表

1~3年次	
4/16(木)	2年次オリエンテーション
4/17(金)	3年次オリエンテーション
4/27(月)~4/28(火)	新入生オリエンテーション
【23年次】4/20(月)	1学期開講
【1年次】4/30(木)	
5/4(月)~5/6(水)	GW
5/28(木)	e-新入生歓迎式
6/30(火)	創立記念日
【1年次】6/25(木)	健康診断
【23年次】7/8(水)	
7/21(火)~8/4(火)	学期末試験期間
8/5(水)	1学期終講
8/17(月)~8/22(土)	夏季休業
8/24(月)	2学期開講
10/30(金)~11/1(日)	大学祭
11/16(月)~11/21(土)	学期末試験期間
11/21(土)	2学期終講
12/7(月)	3学期開講
12/21(月)~1/2(土)	冬季休業
3/1(月)~3/6(土)	学期末試験期間

(注) 新型コロナウイルス感染症の影響により、スケジュールの変更等をする場合があります。
休講日及び休業期間においても試験・授業等を行うことがあります。

2021年度 医学部入学試験概要

試験実施日程

	特別枠 学校推薦型 選抜試験	NEW 地域枠 学校推薦型 選抜試験	NEW 一般枠 学校推薦型 選抜試験	特色 選抜試験	一般選抜試験 (前期)	大学入学 共通テスト 利用選抜試験 (前期)	大学入学 共通テスト ・ 一般選抜試験 併用試験	一般選抜試験 (後期)	大学入学 共通テスト 利用選抜試験 (後期)	
募集人数	10名	15名	10名	7名	55名*	10名	10名	10名* ※一般選抜試験(後期)・大学入学共通テスト利用選抜試験(後期)と合わせて		
※特別枠学校推薦型選抜試験と地域枠学校推薦型選抜試験で、募集人員に合格者が満たない場合は、一般選抜試験(前期・後期)で若干名募集することがあります。なお、特別枠は一般選抜試験(前期)のみでの募集となります。										
募集区分	専願制	専願制	一般枠	一般枠	一般枠	一般枠	一般枠	一般枠	一般枠	
インターネット 出願期間	2020年 11月1日(日) ～ 2020年 11月17日(火)				2020年 12月7日(月) ～ 2021年 1月15日(金)	2020年 12月14日(月) ～ 2021年 1月15日(金)	2020年 12月14日(月) ～ 2021年 1月15日(金)	2021年 2月1日(月) ～ 2021年 2月19日(金)	2021年 2月1日(月) ～ 2021年 2月26日(金)	
書類 提出期限	2020年 11月17日(火) 当日消印有効				2021年 1月15日(金) 当日消印有効	2021年 1月15日(金) 当日消印有効	2021年 1月15日(金) 当日消印有効	2021年 2月19日(金) 当日消印有効	2021年 2月26日(金) 当日消印有効	
第1次 試験日	2020年 11月29日(日)				2021年 1月30日(土)	2021年 1月16日(土) 17日(日) または 1月30日(土) 31日(日)	2021年 1月16日(土) 17日(日) ・ 1月30日(土)	2021年 2月27日(土)	2021年 1月16日(土) 17日(日) または 1月30日(土) 31日(日)	
第1次 試験会場	関西医科大学 枚方学舎 医学部棟				大阪会場： インテックス大阪 東京会場： TOC五反田メッセ 名古屋会場： TKPガーデンシティ PREMIUM名古屋 新幹線口 福岡会場： 南近代ビル	大学入学 共通テスト 受験地	第1次試験会場は、大学入学共通テスト利用選抜試験と一般選抜試験(前期)と同じです。	関西医科大学 枚方学舎 医学部棟 (志願者多数の場合、近隣の施設を使用することがあります)	大学入学 共通テスト 受験地	
第1次 合格者発表	2020年 12月1日(火)				2021年 2月9日(火)	2021年 2月12日(金)	2021年 2月12日(金)	2021年 3月6日(土)	2021年 3月6日(土)	
第2次 試験日	2020年 12月6日(日)				2021年 2月14日(日)	2021年 2月20日(土)	2021年 2月20日(土)	2021年 3月12日(金)	2021年 3月12日(金)	
第2次 試験会場	関西医科大学 枚方学舎 医学部棟				関西医科大学 枚方学舎 医学部棟	関西医科大学 枚方学舎 看護学部棟	関西医科大学 枚方学舎 医学部棟			
第2次 合格者発表	2020年 12月9日(水)				2021年 2月18日(木)	2021年 2月26日(金)	2021年 2月26日(金)	2021年 3月19日(金)	2021年 3月19日(金)	
手続 完了期限	2020年 12月17日(木)				2021年 2月26日(金)	2021年 3月5日(金)	2021年 3月5日(金)	2021年 3月25日(木)	2021年 3月25日(木)	

※詳細は、2021年度医学部学生募集要項をご確認ください。

2021年度 看護学部入学試験概要

【学校推薦型選抜試験〈専願制〉〈NEW併願制〉】

募 集 人 員	30名〈専願制：25名〉〈併願制：5名〉
インターネット出願期間	2020年11月1日(日)～2020年11月11日(水)
書類提出期限	2020年11月11日(水) 当日消印有効
試 験 日	2020年11月22日(日)
試 験 会 場	本学枚方学舎医学部棟
合格者発表	2020年11月27日(金)*
手続完了期限	2020年12月7日(月)

【一般選抜試験〈NEW2教科型〉〈3教科型〉】

募 集 人 員	60名〈2教科型：20名〉〈3教科型：40名〉
インターネット出願期間	2020年12月14日(月)～2021年1月25日(月)
書類提出期限	2021年1月25日(月) 当日消印有効
試 験 日	2021年2月5日(金)
試 験 会 場	本学枚方学舎医学部棟
合格者発表	2021年2月17日(水)*
手続完了期限	2021年2月26日(金)

【大学入学共通テスト利用選抜試験〈NEW2教科型〉〈3教科型〉】

募 集 人 員	10名〈2教科型：5名〉〈3教科型：5名〉
インターネット出願期間	2020年12月14日(月)～2021年1月15日(金)
書類提出期限	2021年1月15日(金) 当日消印有効
大学入学共通テスト試験日	2021年1月16日(土)・1月17日(日) または、1月30日(土)・1月31日(日)
大学入学共通テスト試験会場	大学入学共通テスト各自受験地
合格者発表	2021年2月17日(水)*
手続完了期限	2021年2月26日(金)

*合格発表は、本学枚方学舎看護学部棟エントランスホールに掲示します。入館は、第1・3・5土曜日は13時までです。第2・4土曜日は入館できません。

リハビリテーション学部(仮称)の入学試験について(設置認可申請中)

認可申請中のリハビリテーション学部(仮称)の2021年度の入学者選抜は、次のとおり実施することを予定しています。

2021年度入学試験について

2021年度入試は次の3つの選抜方法で実施します。

- 推薦選抜
- 大学入学共通テスト利用選抜
- 一般選抜

内容は予定であり、変更が生じることがありますので、詳細は、2020年に発行する「募集要項」や本学ホームページにより確認してください。

2021年度大学院医学研究科学生募集要項（博士課程）

2021年度学生募集を下記のとおり開始しました。

■募集人員 医学専攻 計50名(前後期の合計)

■試験概要

	前期〈一般、社会人〉	前期〈外国人〉	後期〈一般、社会人〉
願書受付期間	2020年7月15日(水)～ 2020年8月19日(水)	2020年7月15日(水)～ 2020年9月4日(金)	2021年1月4日(月)～ 2021年1月15日(金)
試験期日	2020年9月5日(土)	書類審査	2021年2月6日(土)
合格発表	2020年10月14日(水)正午		2021年2月18日(木)正午

■選抜方法 〈一般入試、社会人入試〉 入学者の選考は、学力試験(外国語試験、研究分野別試験)を総合して行います。
〈外国人入試〉 書類審査を実施します。

入学試験に関する詳細は、本学ホームページ(<http://www.kmu.ac.jp/juk/gsreb.html>)をご覧ください。出願書類もホームページからダウンロードできます。

2021年度 大学院看護学研究科学生募集要項

2021年度学生募集を下記のとおり行います。

■募集人員

看護学専攻 博士前期課程	20名
看護学専攻 博士後期課程	5名

■夏期日程試験概要

願書受付期間	2020年7月31日(金)～2020年8月14日(金)【必着】
試験期日	2020年8月30日(日)
合格発表	2020年9月4日(金)正午

※出願するコース及び出願資格によっては、事前の出願資格審査が必要な場合があります。

※冬期日程も実施予定であり、試験日程等は決まり次第、本学ホームページ等で公開いたします。

入学試験に関する詳細は、本学ホームページ(http://www.kmu.ac.jp/juk/fon_graduate/)をご覧ください。

医学部新任教員教育FD・看護学部FD委員会主催研究会開催

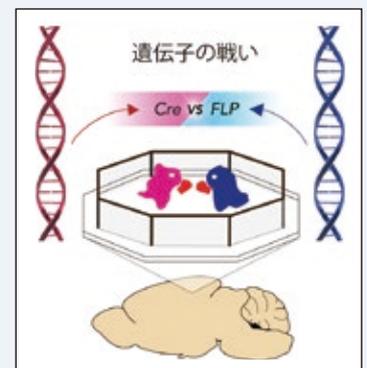
6月20日(土)から26日(金)までの間、医学部新任教員FD「本学の医学教育の現状を知る」がオンラインでの講演動画視聴形式で、採用された174人の教員を対象に実施されました。友田幸一学長による開会挨拶や「本学のカリキュラムについて」「分野別認証について」「本学のCBTについて」「本学のクリニカル・クラークシップ」「本学のOSCE、PostCC-OSCEについて」「本学の国試対策について」「本学の教員評価制度について」と題した7つの講演動画が公開され、参加者は本学における教育活動について学びを深めました。

また、5月29日(金)18時から枚方学舎看護学部棟において、看護学部・看護学研究科FD委員会主催研究会「新型コロナウイルス感染症対策に関する研修会」がWeb開催され、看護学部教職員ら計51名が参加しました。初めてのWeb開催となった今回は、大橋敦准教授(こども看護学領域・学校医)、山下裕紀准教授(基礎看護学領域)、大石努管理師長(附属病院GICU・感染管理認定看護師)、宮下修行診療教授(内科学第一講座呼吸器感染症・アレルギー科)(発表順)がそれぞれ新型コロナウイルス感染症対策について講演しました。

小原講師の論文が「iScience」に掲載

6月7日(日)、世界的科学誌「Cell」で有名なCell Press社(米国)が発行する「iScience」(IF:4.447)に、附属生命医学研究所細胞機能部門小原圭吾講師らの論文「BATTLE: Genetically engineered strategies for split-tunable allocation of multiple transgenes in the nervous system」が掲載されました。小原講師が発表したのは、ウイルスv.s.細胞よりも小さなスケールでの戦いを実現することで遺伝子組み換え技術に革新的な手法を実現させ得る技術。『BATTLE』と命名されたこの技術は、複数遺伝子を任意の割合で組み込んだり、異なる遺伝子を別々の細胞に組み込んだりといった、従来の遺伝子組み換え技術では難しかった自由度の高い遺伝子導入を可能にするものです。これによって遺伝子治療の柔軟性が飛躍的に向上し、さらにきめ細やかな新治療開発に道が開けました。

また、小原講師は『BATTLE』を応用し、脳神経回路の接合部・シナプスの全体像を光学的・高精細に観察する手法『BATTLE-1EX』の開発にも成功し、アルツハイマー病やパーキンソン病などの精神疾患メカニズムの解明が進むと期待されています。



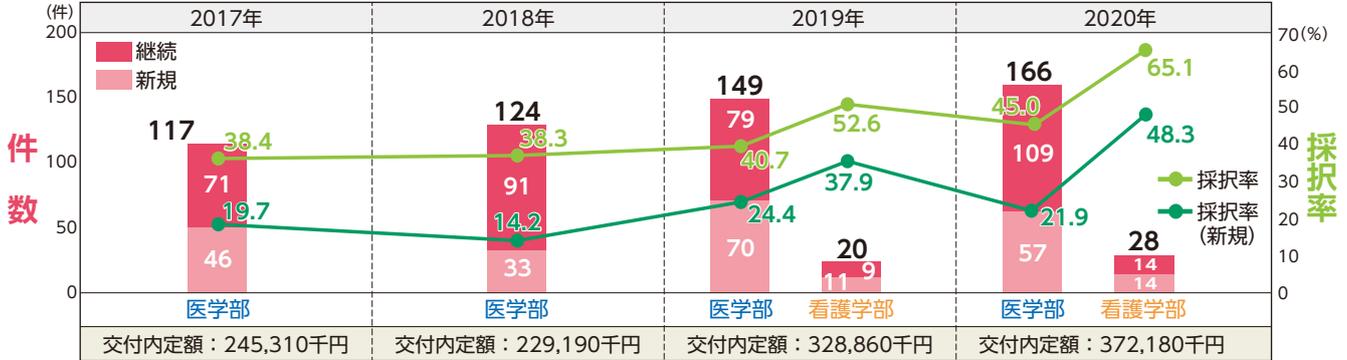
小原講師が開発した「BATTLE」のイメージ図

令和2年度科学研究費助成事業交付内定者一覽他

※掲載情報は申請当時

文部科学省・日本学術振興会関係

2017～2020年度科学研究費採択推移



令和2年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)交付内定額(代表者分)一覽

研究種目等	内定件数	交付内定額 (直接経費)	交付内定額 (間接経費)	交付内定額 (合計)
新学術領域研究	3	10,200,000	3,060,000	13,260,000
基盤研究 (B)	15	61,300,000	18,390,000	79,690,000
奨励研究	1	430,000	0	430,000
研究成果公开发表	1	470,000	0	470,000
合計	20	72,400,000	21,450,000	93,850,000

(単位: 円)

令和2年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)交付内定額(代表者分)一覽

研究種目等	内定件数	交付内定額 (直接経費)	交付内定額 (間接経費)	交付内定額 (合計)
基盤研究 (C)	105	112,500,000	33,750,000	146,250,000
若手研究	68	80,200,000	24,060,000	104,260,000
若手研究 (B)	2	1,400,000	420,000	1,820,000
挑戦的萌芽研究	3	7,300,000	2,190,000	9,490,000
研究活動スタート支援	2	2,200,000	660,000	2,860,000
国際共同研究強化 (A)	1	10,500,000	3,150,000	13,650,000
合計	181	214,100,000	64,230,000	278,330,000

(単位: 円)

令和2年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)交付内定者(代表者)一覽(文部科学省・日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
新学術領域研究 (研究領域提案型) 新規	神経機能部門	小早川 令子	教授	冬眠・人工冬眠・生命保護を結ぶ代謝アダプテーション	3,900,000	1,170,000
新学術領域研究 (研究領域提案型) 継続	生理学講座	中村 加枝	教授	ストレス下の意思決定破綻の神経機構の解明	3,000,000	900,000
	iPS・幹細胞応用医学講座	六車 恵子	教授	てんかん発作を惹起するシグナリティ構造の同定と制御	3,300,000	990,000
基盤研究(B)新規	侵襲反応制御部門	廣田 喜一	教授	酸素ホメオスタシス制御を切り口とした麻酔に伴う免疫応答変容の分子基盤解明	7,900,000	2,370,000
	看護学教育領域	安酸 史子	教授	特別な支援を要する看護学生への教育力育成プログラムの開発	4,700,000	1,410,000
	こども看護学領域	加藤 令子	教授	障がい等のあるこどもが自然災害に備えるセルフケア獲得・定着を可能とするツールの開発	6,400,000	1,920,000
	基礎看護学領域	片田 範子	教授	こどもの生活と発達の「見えづらさ」に着目した状況特定理論の構築	4,400,000	1,320,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(B)継続	iPS・幹細胞応用医学講座	六車 恵子	教授	変性疾患における小脳・大脳神経細胞の脆弱性の解析	4,300,000	1,290,000
	神経機能部門	小早川令子	教授	先天的恐怖を誘発する嗅覚刺激による未知の生体保護作用の解明	3,900,000	1,170,000
	内科学第二講座	塩島 一郎	教授	心疾患におけるnon-canonical Wntシグナルの病態生理学的意義の解明	3,900,000	1,170,000
	分子遺伝学部門	木梨 達雄	教授	一分子計測によるインテグリン接着の動的制御の解明	4,500,000	1,350,000
	医化学講座	寿野 良二	講師	バイアスリガンド開発に資するG蛋白質/アレスチン-GPCR複合体の構造解析	2,400,000	720,000
	薬理学講座	中邨 智之	教授	生体組織の伸縮性を生み出すしくみの研究	4,500,000	1,350,000
	細胞機能部門	小原 圭吾	講師	新戦略を用いた遺伝子導入技術の開発と成体海馬における「細胞競合仮説」の検証と解析	2,600,000	780,000
	生理学講座	中村 加枝	教授	負の情動下の意思決定行動変容の神経基盤：拡張扁桃体-大脳基底核回路の探求	2,700,000	810,000
	地域看護学領域	上野 昌江	教授	子ども虐待予防における『生きづらさ』を抱えた人への妊娠期からの支援手法の変革	3,200,000	960,000
	衛生・公衆衛生学講座	甲田 勝康	教授	体脂肪分布が臓器機能障害におよぼす影響についての大規模疫学研究	2,900,000	870,000
	iPS・幹細胞応用医学講座	玉田 篤史	准教授	ヒト脳オルガノイドの成熟化誘導技術と自動解析技術の開発	3,000,000	900,000
基盤研究(C)新規	麻酔科学講座	中嶋 康文	教授	敗血症病態時の好中球細胞外トラップ産生能とmicroRNAによる制御の解明	1,600,000	480,000
	麻酔科学講座	萩平 哲	教授	麻酔中の脳波による鎮痛モニタリング法の開発	1,200,000	360,000
	救急医学講座	室谷 卓	講師	敗血症における赤血球表面上の補体沈着と侵襲度の評価	1,200,000	360,000
	救急医学講座	鎌方 安行	教授	腸管循環系からみた敗血症ショックの新しい循環管理法の開発に関する研究	1,400,000	420,000
	細胞機能部門	林 美樹夫	講師	ムコリピンを標的としたがん根治・予防を可能とする治療薬の創出	2,100,000	630,000
	脳神経外科学講座	吉村 晋一	准教授	内向き整流Kチャネルを基軸としたグリオーマ浸潤メカニズムの解明	2,000,000	600,000
	整形外科学講座	串田 剛俊	准教授	超小型シークエンサーを用いた周術期感染症のオンサイト迅速モニタリング技術の開発	1,500,000	450,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	日高 浩史	准教授	降下性縦隔炎の治療法構築と地域包括医療計画への提言：医療ビッグデータを用いた解析	1,400,000	420,000
	実験病理学講座	川村 文彦	研究員	多能性幹細胞より味細胞への分化誘導法の開発；味蕾オルガノイド共培養を用いて	900,000	270,000
	内科学第一講座	玉置 岳史	講師	進行期肺癌に対する癌化学療法への医療経済的なアプローチによる解析	300,000	90,000
	法医学講座	橋谷田真樹	准教授	DNAメチル化を中心とした心臓突然死診断への多角的アプローチ	1,300,000	390,000
	看護学教育領域	太田 祐子	准教授	対話的リフレクションを契機としたキャリア中期看護職の成長に関する研究	800,000	240,000
	基礎看護学領域	藤本 悦子	教授	看護教育における解剖生理学の再構築とその教育指針の作成	1,200,000	360,000
	慢性疾患看護学領域	村内 千代	助教	50歳未満成人2型糖尿病患者の治療中断リスク評価ツールの開発	1,100,000	330,000
	慢性疾患看護学領域	大原 千園	講師	パーキンソン病患者の身体性を意識した看護支援指針の開発と検証	400,000	120,000
	慢性疾患看護学領域	瀬戸奈津子	教授	高齢慢性疾患患者を対象とした外来看護包括的アセスメントツールの開発	400,000	120,000
	在宅看護学領域	山本 大祐	助教	中山間地域で継ぎ目の無い看取り支援を可能にする訪問看護師育成モデルの開発	1,100,000	330,000
	リハビリテーション医学講座	福元 喜啓	講師	骨格筋超音波画像の周波数解析による新しい筋内脂肪指標の開発	1,800,000	540,000
	外科学講座	里井 壯平	教授	機能性食品(AHCC)による痔瘻治療成績改善を検証する二重盲検無作為比較試験	2,300,000	690,000
基盤研究(C)継続	放射線科学講座	米虫 敦	講師	ハイブリッド手術における医療従事者の水晶体被曝線量評価に関する多施設共同研究	500,000	150,000
	精神神経科学講座	嶽北 佳輝	講師	無作為比較試験を基にした治療抵抗性統合失調症の生物学的治療アルゴリズム構築と検証	600,000	180,000
	精神神経科学講座	織田 裕行	講師	自殺企図男性のLOH症候群に関する検証	700,000	210,000
	放射線科学講座	狩谷 秀治	准教授	ナノバブル生成器の開発：バブル投与下超音波照射によるソノポレーション効果での検証	1,000,000	300,000
	産科学・婦人科学講座	岡田 英孝	教授	転写因子HAND2による着床制御機構の解明	800,000	240,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 継続	形成外科学講座	覚道奈津子	准教授	脂肪幹細胞の低酸素応答メカニズムの解明と新たな体外増幅法の開発	800,000	240,000
	国際看護学領域	畠中 香織	講師	外国人ケア労働者を対象とした異文化間ケア教育プログラムの開発から協働文化の創生へ	700,000	210,000
	生物学教室	平野 伸二	教授	神経系における細胞接着分子プロトカドヘリン1の作用機構の解明	1,100,000	330,000
	解剖学講座	北田 容章	教授	ゼノバスにおける部位特異的遺伝子組換え技術に資する遺伝子座の同定	700,000	210,000
	内科学第三講座	安藤 祐吾	講師	炎症性腸疾患モデルマウスにおけるmicroRNAの制御機構	600,000	180,000
	微生物学講座	藤澤 順一	教授	HTLV-1慢性感染およびATL発症過程におけるがん微小環境の役割	900,000	270,000
	内科学第三講座	田原 智満	講師	腸内細菌による大腸腫瘍初期病変の異なる分子サブタイプ誘導に関する検討	700,000	210,000
	生理学講座	安田 正治	講師	負の情動下における、セロトニン投射を介した行動制御機構の解明	900,000	270,000
	心療内科学講座	蓮尾 英明	講師	がん患者の不眠障害に対する在宅心身モニタリングの検討	700,000	210,000
奨励研究	リエゾン精神看護	吉井ひろ子	専門看護師	ギャンブル障害家族からみた当事者が治療継続への長期的な動機づけに至ったプロセス	430,000	0
研究成果公开发表	放射線科学講座	中村 聡明	准教授	「光のメス」放射線で治す最先端がん治療	470,000	0

(単位：円)

令和2年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 交付内定者(代表者) 一覧(日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 新規	ゲノム編集部門	徳弘 圭造	准教授	亜鉛シグナルによる精子受精能制御機構の解明	1,100,000	330,000
	解剖学講座	林 真一	講師	脊髄再生における二胚葉性幹細胞の出現と役割の解析	1,200,000	360,000
	生理学講座	上田 康雅	講師	ストレスによる行動変容に対するドーパミンとセロトニンの役割を明らかにする研究	1,900,000	570,000
	細胞機能部門	武藤 恵	講師	代謝型グルタミン酸受容体サブタイプ1の幼弱海馬特異的新機能の解明	1,400,000	420,000
	ゲノム解析部門	三澤 計治	講師	ながはまコホートおよび佐渡コホートのゲノム情報解析による、尿酸値関連変異の探索	1,300,000	390,000
	分子遺伝学部門	近藤 直幸	助教	病原性小胞の抑制を目指したインテグリン含有小胞の制御機序の解明	700,000	210,000
	分子遺伝学部門	植田 祥啓	講師	動態制御シグナルRap1によるNKT細胞の産生の時空間的制御	1,200,000	360,000
	生体情報部門	松田 達志	准教授	小胞輸送制御因子Arfを介した免疫調節機構の解明	1,300,000	390,000
	腎泌尿器外科学講座	吉田 崇	助教	浸潤性膀胱癌における新規治療ターゲットとしての一次繊毛	1,600,000	480,000
	分子遺伝学部門	池田 幸樹	助教	Talin1によるインテグリン活性化を介した神経膠(芽)腫悪性化メカニズムの解明	1,200,000	360,000
	神経機能部門	林 勇一郎	博士研究員	固定化した記憶を保持する前頭前皮質の神経活動ダイナミクス	1,900,000	570,000
	物理学教室	栗川 知己	助教	神経発火パターンがつくる軌道構造による領野間通信機序の解明	1,400,000	420,000
	薬理学講座	平井 希俊	講師	心筋再生医療にむけたErbB受容体シグナル経路の解明	1,300,000	390,000
	内科学第二講座	塚口 裕康	講師	核膜構造・機能からみるヒト遺伝性疾患の解明	1,300,000	390,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	松岡 由和	助教	ヒト造血血管細胞におけるCD34抗原の発現意義の解明	2,000,000	600,000
	呼吸器外科学講座	谷口 洋平	助教	胸腺癌特異マーカーPRAMEの生物学的意義の解明と新規治療戦略への展開	1,500,000	450,000
	呼吸器外科学講座	齊藤 朋人	講師	肺癌 invasive frontの空間的病理解析による浸潤/免疫抑制機構の解明	900,000	270,000
	侵襲反応制御部門	西 憲一郎	研究員	HIF-1活性解析を基軸としたタバコ誘導性肺バリア機能低下機構の分子生物学的探究	1,700,000	510,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 継続	内科学第二講座	岩崎 真佳	講 師	食後高血糖・食後高中性脂肪血症が骨髄幹細胞・血管内皮前駆細胞に与える影響	900,000	270,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	人見 浩史	教 授	iPS細胞を用いた腎性貧血に対する新規治療法の開発	800,000	240,000
	ゲノム編集部門	福田 尚代	助 教	細胞極性制御複合体Exocyst-Par3の機能解析と乳がん治療への応用	1,100,000	330,000
	外科学講座	海堀 昌樹	教 授	インドシアニングリーン・ラクトソームを用いた胆嚢癌に対する新規治療法の研究開発	1,200,000	360,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	白水 泰昌	講 師	増殖能を有するヒトiPS細胞由来肝前駆細胞の凍結保存と急性肝不全治療への応用	1,000,000	300,000
	心臓血管外科学講座	駒井 宏好	教 授	閉塞性動脈硬化症重症下肢虚血患者の予後に対する悪性新生物の影響	500,000	150,000
	侵襲反応制御部門	岩井 鉄平	研究員	グリオーマ幹細胞を用いたがん組織表現型と遺伝子発現への麻酔薬の影響の検討	700,000	210,000
	脳神経外科学講座	浅井 昭雄	教 授	グリオーマがん幹細胞におけるOX40シグナルの機能解析	400,000	120,000
	眼科学講座	高橋 寛二	教 授	網膜静脈閉塞症の病的/生理的血管新生発生要因をOCTアンギオグラフィーで検討する	1,100,000	330,000
	形成外科学講座	楠本 健司	教 授	多血小板血漿による創傷治癒過程における脂肪誘導の検討	900,000	270,000
	心理学教室	西垣 悦代	教 授	コーチングを活用した医学生向けレジリエンストレーニングプログラムの作成	800,000	240,000
	慢性疾患看護学領域	青木 早苗	准教授	遺伝的リスクがある乳がん女性のセルフ・トランセンデンスを促進する支援モデルの構築	1,000,000	300,000
	リハビリテーション医学講座	中野 治郎	教 授	がん性疼痛に対する経皮的電気刺激のエビデンス構築と新適用法開発を目指す多施設研究	600,000	180,000
	心療内科学講座	福永 幹彦	教 授	光環境サイクルという視点からの、新たな心身症治療法の可能性	700,000	210,000
	心療内科学講座	山本 和美	研究員	乳がん患者へのマインドフルネスストレス低減法による介入効果の検討	300,000	90,000
	生理学講座	倉岡 康治	助 教	霊長類扁桃体における情動情報と社会的情報の統合・制御機序の解明	1,000,000	300,000
	神経機能部門	松尾 朋彦	研究員	恐怖情動時の生理応答変化を担う神経回路の解明	1,200,000	360,000
	形成外科学講座	益岡 弘	助 教	口輪筋と顔面表情筋群の複合的メカニズムの解明と正常な表情獲得のための基盤の検討	900,000	270,000
	解剖学講座	田中 進	准教授	単一細胞解析による覚醒制御機構の解明	1,200,000	360,000
	解剖学講座	和田(平原)幸恵	講 師	シユワン細胞の発生・成熟における硫酸化糖脂質の生理的意義の解明	1,000,000	300,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	服部 文幸	教 授	心筋細胞の発生的成熟化スイッチの解明と、ヒトiPS細胞由来心筋細胞への応用	700,000	210,000
	医化学講座	井上 明俊	助 教	慢性掻痒の創薬、がんの抗体医薬開発に向けた中枢痒み受容体の構造基盤解明	1,100,000	330,000
	薬理学講座	三木 貴雄	講 師	がん概日リズムの関連から同定した新規がん制御機構の解析	1,100,000	330,000
	医化学講座	西田 和彦	助 教	臓器の伝達に関与する脊髄内神経回路とその構築を制御する分子基盤の解明	1,300,000	390,000
	医化学講座	片野 泰代	准教授	BEGAINによって調節される慢性疼痛特異的な脊髄内伝達回路の解明と創薬への試み	1,300,000	390,000
	内科学第一講座	野村 昌作	教 授	サイトカイン遺伝子の一塩基多型解析とEVを用いた難治性ITPの早期診断法の開発	1,200,000	360,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	小林 良樹	講 師	好酸球ペルオキシダーゼ抗体の存在から難治性好酸球性気道炎症の新たな治療戦略を探る	1,100,000	330,000
	精神神経科学講座	奥川 学	非常勤講師	麻酔-ECT時間がけいれん発作の質および臨床的有効性・忍容性に及ぼす影響について	600,000	180,000
	精神神経科学講座	吉村 匡史	准教授	レビー小体型認知症とアルツハイマー型認知症に対する経頭蓋直流電気刺激(tDCS)	800,000	240,000
	小児科学講座	辻 章志	准教授	腸管免疫に影響を与える腸内細菌叢に着目した微小変化型ネフローゼ症候群の病因解明	1,000,000	300,000
実験病理学講座	松浦 徹	講 師	大腸がん組織内での概日周期多様性とその治療への応用	1,200,000	360,000	
内科学第一講座	佐竹 敦志	講 師	セマフォリン4Aが移植後免疫応答に及ぼす影響の解明と新規急性GVHD制御法の開発	1,100,000	330,000	
心臓血管外科学講座	岡田 隆之	講 師	網羅的遺伝子解析による大動脈疾患へのプレジジョンメディシンの創出	1,100,000	330,000	

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 継続	侵襲反応制御部門	松尾 禎之	講 師	自然免疫細胞の代謝リプログラミング解析を主軸とした周術期炎症応答の分子機序の探求	1,000,000	300,000
	麻酔科学講座	竹下 淳	研究医員	敗血症病態における血小板数減少と細胞死のmicroRNA網羅的解析による機序解明	1,200,000	360,000
	麻酔科学講座	影山 京子	研究医員	血小板と白血球の相互作用による敗血症増悪病態におけるmicroRNAの役割の解明	1,200,000	360,000
	腎泌尿器外科学講座	松田 公志	教 授	Augmented realityを利用した追体験型内視鏡手術教育システムの開発	1,000,000	300,000
	産科学・婦人科学講座	都築 朋子	講 師	酸素・エネルギー代謝解析によるHIF-1を機軸とした子宮内膜炎症応答の解明	1,000,000	300,000
	臨床病理学講座	神田 晃	准教授	好酸球性気道炎症における選択的アセチルコリン受容体の機序解明と新しい治療薬の開発	1,000,000	300,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	岩井 大	教 授	Tリンパ球分画接種による老人性難聴の予防法および予防機序の解明	1,300,000	390,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	庄野 朱美	研究員	咽喉頭粘膜上皮における新規成体幹細胞の探索と細胞の多様性の解明	700,000	210,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	中塚 隆介	助 教	ヒトiPS細胞からの生理機能を有した副甲状腺細胞分化誘導同法の開発と機能評価	1,300,000	390,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	兒島 由佳	准教授	薬剤関連顎骨壊死の発症原因解明と発症予防法確立に向けた多施設共同前向き研究	900,000	270,000
	心療内科学講座	阿部 哲也	准教授	医療面接における共感場面の社会的・生理的特徴からの客観的解明	900,000	270,000
	精神看護学領域	三木 明子	教 授	訪問看護師・介護員における暴力への対応力向上のためのトレーニングプログラムの開発	1,000,000	300,000
	クリティカルケア看護学領域	林 優子	教 授	急性・重症患者看護専門看護師の倫理的実践知の体系化・倫理的実践の質向上に向けて	800,000	240,000
	母性(助産)看護学領域	川崎 有紀	助 教	妊娠糖尿病と診断された女性の産後糖尿病発症予防に向けてのプログラム構築	500,000	150,000
	在宅看護学領域	李 錦純	准教授	多文化共生社会の高齢化に対応した在宅ケアグローバル人材養成教育プログラムの開発	700,000	210,000
	地域看護学領域	海原 律子	助 教	社会的孤立の状態にある高齢者の理解と孤立した生き方を尊重した支援の検討	600,000	180,000
	在宅看護学領域	武 ユカリ	講 師	訪問看護における暴力防止のためのe-learningによる教育プログラム開発	1,900,000	570,000
	衛生・公衆衛生学講座	三宅 眞理	講 師	ICTを用いたフレイルとMCI予防プログラムの開発	2,100,000	630,000
	数学教室	北脇 知己	教 授	自転車ペダリング動作スキルの計測デバイス開発と評価指標の確立	600,000	180,000
	内科学第三講座	長沼 誠	教 授	治療最適化を目指した潰瘍性大腸炎患者の腸内細菌・口腔内細菌叢の解析	1,500,000	450,000
生理学講座	宮内 哲	非常勤講師	なぜ全盲の人が障害物を避けて歩けるのか? -膝状体外路系機能の解明-	800,000	240,000	
若手研究 新規	解剖学講座	小池 太郎	助 教	新規一次感覚ニューロンの生理的・病理的役割の解明	1,700,000	510,000
	腎泌尿器外科学講座	大杉 治之	助 教	淡明細胞型腎細胞癌の個別化医療を目的としたバイオマーカーの同定	1,000,000	300,000
	放射線科学講座	上野 裕	助 教	大量ナノバブル存在下で増強したキャビテーションによる経皮吸収促進の評価	1,100,000	330,000
	放射線科学講座	小池 優平	助 教	深層学習による患者個別線量分布推定に基づいた自動放射線治療計画システムの構築	1,700,000	510,000
	分子遺伝学部門	福原貴太郎	研究員	ヒト化マウスを用いた炎症性腸疾患モデルの開発と接着分子阻害による治療法の開発	1,000,000	300,000
	内科学第三講座	富山 尚	講 師	大腸癌細胞外小胞がもたらす生体内での腫瘍免疫変化の解析	1,300,000	390,000
	内科学第二講座	澁谷 裕樹	研究医員	光干渉断層画像による新生内膜内動脈硬化巣に対する画像診断法の構築と発生機序の解明	1,300,000	390,000
	皮膚科学講座	岸本 泉	助 教	病変局所へ浸潤する好塩基球に注目した特発性蕁麻疹の病態検討	2,100,000	630,000
	外科学講座	小林 壽範	助 教	超小型シークエンサーを用いた外科周術期管理におけるオンサイト迅速細菌同定法の確立	2,300,000	690,000
	麻酔科学講座	大平早也佳	研究医員	敗血症時の免疫抑制病態と骨髄由来抑制細胞由来microRNAによる制御機構の役割	2,100,000	630,000
	侵襲反応制御部門	岡本 明久	研究員	麻酔薬の標的細胞小器官としてのミトコンドリアと細胞内エネルギー代謝関連の探究	2,300,000	690,000
	救急医学講座	中村 文子	助 教	救急現場オンサイトでの迅速感染症診断を可能にする超小型シークエンスシステムの確立	2,300,000	690,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
若手研究 新規	脳神経外科学講座	李 一	研究医員	グリオーマの根治療法の開発に向けたTRPMLの分子基盤と創薬基盤	2,200,000	660,000
	整形外科科学講座	外山 雄康	助 教	NGSと新規迅速PCRによる骨軟部組織感染症迅速診断法の研究	2,300,000	690,000
	整形外科科学講座	植田 成実	助 教	次世代シーケンサーと遺伝子解析装置によるバイオフィルム内細菌・薬剤耐性菌検出法	2,100,000	630,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	井原 遥	助 教	甲状腺癌に対する分子標的薬併用内/外放射線治療法の開発	1,000,000	300,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	福井 研太	任期付助 教	甲状腺癌に対するAt-211を用いた標的RI治療と分子標的薬の併用療法の確立	1,000,000	300,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	河内 理咲	助 教	鼻腔産生一酸化窒素から睡眠時無呼吸症の病態を探る	1,200,000	360,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	清水 皆貴	助 教	好酸球性副鼻腔炎の克服を目指した新規融合タンパク質の鼻腔組織への有効性	1,100,000	330,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	阪本 大樹	助 教	活性化2型自然リンパ球に発現するCD69の分子機能的役割の解明	1,200,000	360,000
	眼科学講座	大庭 慎平	助 教	網膜静脈閉塞症における側副血行路形成予測方法の開発	800,000	240,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	澤田 俊輔	講 師	ヒトiPS細胞を用いた唾液腺組織の再構築と移植による唾液腺機能回復	1,200,000	360,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	切東 真子	任期付助 教	薬剤関連頸壊死の発症原因解明と発症予防法確立に向けた多施設共同前向き研究	800,000	240,000
	クリティカルケア看護学領域	小林 寛子	助 教	在宅療養移行を実現する悪性脳腫瘍患者の外泊看護支援プログラムの作成	900,000	270,000
	看護学教育領域	上山千恵子	助 教	精神科入院患者自殺発症後の看護師への支援と院内教育モデル構築のための基礎的研究	900,000	270,000
	国際看護学領域	山本 容子	助 教	サブサハラ・アフリカ地域の児童を対象としたライフスキル尺度の開発	600,000	180,000
	こども看護学領域	西川 菜央	助 教	PICUに入室しているこどものセルフケア能力の変化に着目した看護支援モデルの開発	900,000	270,000
	精神看護学領域	川崎絵里香	助 教	精神疾患患者へのICTを用いたセルフマネジメント支援・支援方法と有効性の検討	200,000	60,000
	リハビリテーション医学講座	田口 周	助 教	Mixed Reality技術を応用した新たな3次元認知機能課題の開発	2,300,000	690,000
若手研究 継続	精神神経科学講座	越川 陽介	研究員	精神科医療へのフォーカシングの臨床応用に向けた探索研究：うつ病のQOLに着目して	700,000	210,000
	解剖学講座	大江 総一	助 教	虚血応答因子としての脳由来胆汁酸の生理的意義の解明	1,000,000	300,000
	放射線科学講座	武川 英樹	助 教	頭頸部癌適応放射線治療の適応回数及びタイミングの人工知能に基づく最適化基盤の構築	900,000	270,000
	放射線科学講座	姉帯 優介	助 教	放射線治療計画の品質を高める包括的研究	500,000	150,000
	放射線科学講座	小野 泰之	助 教	カテーテルにコーティングされたPMEAのバイオフィルム形成抑制効果の証明	1,700,000	510,000
	腎泌尿器外科学講座	齊藤 亮一	講 師	PDL1発現制御に着目した膀胱癌新規治療標的の探索	300,000	90,000
	小児科学講座	木全 貴久	講 師	腸内細菌叢に注目した膀胱尿管逆流症例に対する再発性尿路感染症の新規予防法の確立	900,000	270,000
	リハビリテーション医学講座	竹内 翔	助 教	SCIM SR の日本語版の作成と妥当性の検討	700,000	210,000
	リハビリテーション医学講座	松島 佳苗	講 師	自閉スペクトラム症児の感覚特性と身体接触を基盤とした対人反応の関連	500,000	150,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	角出 啓輔	特別研究員	ヒトiPS細胞由来肝オルガノイドによるヒト胎児肝造血の再現	1,300,000	390,000
	神経機能部門	土井 昭宏	博士研究員	匂いに対する蚊の擬死行動誘発メカニズムの解明	2,200,000	660,000
	生体情報部門	住吉 麻実	助 教	小胞輸送制御因子Arfを介したpathogenic Th17細胞制御機構の解明	1,500,000	450,000
	解剖学講座	中野 洋輔	助 教	腫瘍関連マクロファージ/ミクログリアの分極化制御によるグリオーマの増殖抑制	1,500,000	450,000
	臨床病理学講座	大江 知里	講 師	高悪性度腎細胞癌の治療薬シーズの探索	1,200,000	360,000
	精神神経科学講座	砂田 尚孝	助 教	薬効ゲノム情報に基づくレビー小体型認知症治療戦略の策定	300,000	90,000
小児科学講座	山内 壮作	講 師	強力に複数の炎症性サイトカインを抑制する新薬・DHMEQのSLEに対する治療開発	1,100,000	330,000	

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
若手研究 継続	内科学第三講座	山口 隆志	講 師	非アルコール性脂肪性肝炎の線維化進行と肝発癌を予測する新規バイオマーカーの開発	900,000	270,000
	内科学第三講座	田中 敏宏	講 師	自己免疫性膝炎の発症病態や制御機構に関わるIL-35の働き	1,200,000	360,000
	内科学第一講座	吉村 英晃	助 教	レナリドミドの移植片対宿主病に及ぼす影響の解明－制御性T細胞を中心として－	700,000	210,000
	心臓血管外科学講座	山本 暢子	助 教	閉塞性動脈硬化症の重症化早期発見におけるPerfusion Indexの意義	300,000	90,000
	麻酔科学講座	角 千里	助 教	ミトコンドリア機能解析を基軸としたプロポフォールの細胞毒性機構の分子生物学	1,000,000	300,000
	麻酔科学講座	添田 岳宏	助 教	敗血症病態におけるセルフフリーDNAの制御とマイクロRNAを用いた遺伝子治療の応用	900,000	270,000
	外科学講座	中竹 利知	助 教	難治性敗血症に対するセンスオリゴヌクレオチドを用いた新規核酸薬の開発研究	1,600,000	480,000
	脳神経外科学講座	岩田 亮一	講 師	脳転移開始細胞を用いた脳転移の機序解明	1,500,000	450,000
	脳神経外科学講座	山村奈津美	助 教	グリオーマの増殖を抑制する転写因子の解明	1,500,000	450,000
	腎泌尿器外科学講座	谷口 久哲	講 師	Ovol2/MOVOが精子形成過程において果たす機能とその役割の解明	1,600,000	480,000
	産科学・婦人科学講座	久松 洋司	助 教	円錐切除術時に発生するsurgical smokeに含まれるHPVに関する研究	300,000	90,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	尹 泰貴	助 教	活性化組織好酸球に発現するCD69の機能的役割の解明	1,000,000	300,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	高田真紗美	助 教	好酸球性気道炎症におけるMIP1-βの役割と病勢マーカーとしての応用	1,100,000	330,000
	眼科学講座	盛 秀嗣	助 教	弾性線維欠損マウス及び網膜光凝固術を用いたポリリーブ状脈絡膜血管症モデルの作成	1,000,000	300,000
	眼科学講座	嶋 千絵子	講 師	眼内虚血時における病的血管新生を防ぎつつ、生理的血管新生を誘導する方法を検討する	1,000,000	300,000
	実験病理学講座	藤田 恭平	研究員	味覚の再生に向けた改良型味蕾オルガノイドの作製と移植技術の開発	700,000	210,000
	医学教育センター	唐牛 祐輔	助 教	医学生の長期的学修を支えるGritの役割－統合的学修過程モデルの構築	800,000	240,000
	基礎看護学領域	藤原 史博	講 師	組織からの退出を控えたエキスパート看護師の世代継承性の内容と構造	1,100,000	330,000
	クリティカルケア看護学領域	谷水 名美	講 師	肝移植レシピエントのWell-Beingを目指す継続的看護実践モデル開発	900,000	270,000
	慢性疾患看護学領域	藤本 悠	助 教	離島へき地における保健師確保に関する現状と課題	800,000	240,000
老年看護学領域	金原 京子	講 師	有料老人ホームでの看取りに向けた事前意思確認のあり方と看護の役割に関する研究	300,000	90,000	
健康科学教室	黒瀬 聖司	助 教	筋-脂肪組織ネットワークによる骨格筋制御の特性を考慮した運動プログラムの開発	1,000,000	300,000	
モデル動物部門	村山 正承	講 師	神経細胞移植による認知機能改善における神経回路再構築の可視化と機能評価	1,800,000	540,000	
若手研究(B) 継続	放射線科学講座	丸山 拓士	助 教	難治性乳糜漏に対する胸管-下大静脈バイパス術の基礎的研究	900,000	270,000
	クリティカルケア看護学領域	山口真有美	助 教	初期・二次救急外来受診後、帰宅する高齢者世帯患者に対する看護実践モデルの検討	500,000	150,000
挑戦的研究(萌芽) 継続	生理学講座	中村 加枝	教 授	霊長類セロトニン系の光操作による心と体の相互関係のメカニズムの解明	1,800,000	540,000
	細胞機能部門	小原 圭吾	講 師	海馬新CA2領域における興奮性神経細胞の多様性解明と集団性探索	2,500,000	750,000
	iPS・幹細胞応用医学講座	六車 恵子	教 授	複合オルガノイドによるヒト脳領域間ネットワークの形成	3,000,000	900,000
研究活動 スタート支援 継続	こども看護学領域	石浦 光世	助 教	心身に障害のある子どもの力を育む看護師の多職種チームによる発達支援とそのプロセス	1,100,000	330,000
	精神看護学領域	川崎絵里香	助 教	統合失調症患者の睡眠へのアロマセラピーの効果:芳香浴とハンドマッサージの比較	1,100,000	330,000
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A))	外科学講座	中竹 利知	助 教	難治性敗血症や虚血再灌流障害に対する新規核酸医薬を用いた応用研究	10,500,000	3,150,000

(単位:円)

令和元年度科学研究費助成事業交付決定(追加：他大学からの転入の代表者等)一覽(日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付決定額		
					直接経費	間接経費	合計
基盤研究(C)	衛生・公衆衛生学講座	村上 由希	助教	内因性代謝産物の変動に着目した自閉症スペクトラム症の早期診断バイオマーカーの探索	600,000	180,000	780,000
	国際看護学領域	畠中 香織	講師	外国人ケア労働者を対象とした異文化間ケア教育プログラムの開発から協働文化の創生へ	800,000	240,000	1,040,000
	解剖学講座	北田 容章	教授	ゼノバスにおける部位特異的遺伝子組換え技術に資する遺伝子座の同定	800,000	240,000	1,040,000
	内科学第三講座	田原 智満	講師	腸内細菌による大腸腫瘍初期病変の異なる分子サブタイプ誘導に関する検討	800,000	240,000	1,040,000
若手研究	モデル動物部門	村山 正承	講師	神経細胞移植による認知機能改善における神経回路再構築の可視化と機能評価	1,400,000	420,000	1,820,000
	腎泌尿器外科学講座	齊藤 亮一	講師	PDL1発現制御に着目した膀胱癌新規治療標的の探索	1,300,000	390,000	1,690,000
	リハビリテーション医学講座	竹内 翔	助教	SCIM SR の日本語版の作成と妥当性の検討	600,000	180,000	780,000
	リハビリテーション医学講座	松島 佳苗	講師	自閉スペクトラム症児の感覚特性と身体接触を基盤とした対人反応の関連	700,000	210,000	910,000
挑戦的研究(萌芽)	生理学講座	中村 加枝	教授	霊長類セロトニン系の光操作による心と体の相互関係のメカニズムの解明	1,200,000	360,000	1,560,000
	細胞機能部門	小原 圭吾	講師	海馬新CA2領域における興奮性神経細胞の多様性解明と集団性探索	2,500,000	750,000	3,250,000
	iPS・幹細胞応用医学講座	六車 恵子	教授	複合オルガノイドによるヒト脳領域間ネットワークの形成	2,000,000	600,000	2,600,000
研究活動スタート支援	こども看護学領域	石浦 光世	助教	心身に障害のある子どもの力を育む看護師の多職種チームによる発達支援とそのプロセス	1,100,000	330,000	1,430,000
	精神看護学領域	川崎絵里香	助教	統合失調症患者の睡眠へのアロマセラピーの効果:芳香浴とハンドマッサージの比較	1,100,000	330,000	1,430,000
決定額(追加分)合計					14,900,000	4,470,000	19,370,000

(単位：円)

厚生労働省関係

令和元年度厚生労働科学研究費補助金交付内定者(追加：代表者)一覽

研究事業名	研究代表者			研究課題	直接経費	間接経費	合計
厚生労働科学特別研究事業	精神看護学領域	三木 明子	教授	看護職等が受ける暴力・ハラスメントに対する実態調査と対応策検討に向けた研究	6,584,000	1,975,000	8,559,000
合計					6,584,000	1,975,000	8,559,000

(単位：円)

令和元年度厚生労働科学研究補助金(分担者)一覽(事務委任分)

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)	内科学第三講座	岡崎 和一	教授	難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	東邦大学医療センター 佐倉病院 消化器センター 教授 鈴木 康夫	500,000
	皮膚科学講座	神戸 直智	准教授	自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、重症度分類、診療ガイドライン確立に関する研究	京都大学 大学院医学研究科 医学部 准教授 西小森 隆太	500,000
	眼科学講座	高橋 寛二	教授	網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査	山形大学 眼科 教授 山下 英俊	400,000
	外科学講座	濱田 吉則	名誉教授	小児期・移行期を含む包括的対応を要する希少難治性肝胆膵疾患の調査研究	東北大学 大学院医学系研究科 教授 仁尾 正記	150,000
	脳神経外科学講座	埜中 正博	診療教授	神経変性疾患領域における基盤的調査研究	国立病院機構松江医療センター 院長 中島 健二	400,000
	微生物学講座	竹之内徳博	准教授	HAMならびに類縁疾患の患者レジストリを介した診療連携モデルの構築によるガイドラインの活用促進と医療水準の均てん化に関する研究	聖マリアンナ医科大学 医学研究科 大学院教授 山野 嘉久	300,000

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
がん対策推進総合研究事業	外科学講座	海堀 昌樹	診療教授	高齢者のがん医療の質の向上に資する簡便で効果的な意思決定支援プログラムの開発に関する研究	国立研究開発法人 国立がん研究センター 先端医療開発センター 精神腫瘍学開発分野 分野長 小川 朝生	500,000
	外科学講座	海堀 昌樹	診療教授	高齢者ががん診療指針策定に必要な基盤整備に関する研究	福岡大学 医学部 教授 田村 和夫	0
障害者政策総合研究事業	精神神経科学講座	加藤 正樹	准教授	向精神薬の適切な継続・減量・中止等の精神科薬物療法の出口戦略の実践に資する研究	秋田大学 医学系研究科 教授 三島 和夫	800,000
健やか次世代育成総合研究事業	小児科学講座	石崎 優子	講師	身体的・精神的・社会的(biosychosocial)に健やかな子どもの発育を促すための切れ目のない保健・医療体制提供のための研究	東京医科大学 小児医学講座 教授 岡 明	1,000,000
労災疾病臨床研究事業	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	鈴鹿 有子	教授	騒音性難聴による生活の質と労働生産性の低下を防ぐ予防から発症後まで俯瞰したデータ収集と現場の支援	筑波大学 医学医療系 准教授 和田 哲郎	500,000
移植医療基盤整備研究事業	救急医学講座	中森 靖	教授	5類型施設における効率的な臓器・組織の提供体制構築に資する研究－ドナー評価・管理と術中管理体制の新たな体制構築に向けて－	大阪大学 大学院 医学系研究科 救急医学 教授 嶋津 岳士	200,000
合 計						5,250,000

(単位：円)

令和元年度厚生労働省その他補助金(分担者)一覧

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
慢性疼痛診療体制構築モデル事業費補助金	心療内科学	水野 泰之	助教	慢性疼痛診療体制構築モデル事業	滋賀医科大学 医学部 附属病院 ペインクリニック科 講師 福井 聖	500,000
合 計						500,000

(単位：円)

その他公的研究費

令和元年度 日本医療研究開発機構(AMED)、科学技術振興機構(JST)等 委託費等採択一覧

所管組織等	事業名等	講座	氏名	職位	研究課題名	研究代表者/研究分担者	研究代表者、研究分担者、共同研究者等	直接経費	間接経費	合 計
日本医療研究開発機構(AMED)	革新的先端研究開発支援事業ユニットタイプ(AMED-CREST)	医化学	小林 拓也	教授	プロスタグランジン受容体の立体構造を基盤とした創薬開発を目指す革新的技術の創出	研究代表者	—	10,000,000	3,000,000	13,000,000
日本医療研究開発機構(AMED)	創薬基盤推進研究事業	医化学	小林 拓也	教授	最新の構造解析技術を活用したGPR創薬のための技術基盤の構築	研究代表者	—	9,592,000	2,877,600	12,469,600
日本医療研究開発機構(AMED)	再生医療実現拠点ネットワークプログラム	iPS・幹細胞応用医学	六車 恵子	教授	ヒト多能性幹細胞を用いた小脳疾患に対する再生医療のための技術開発	研究代表者	—	10,000,000	3,000,000	13,000,000
日本医療研究開発機構(AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	形成外科学	覚道奈津子	講師	先天性巨大色素性母斑を母地とした悪性黒色腫に対する予防的低侵襲治療方法の開発～First-in-man 臨床研究から先進医療へ	研究分担者	京都大学 大学院 医学研究科形成外科学 教授 森本 尚樹	9,300,000	2,790,000	12,090,000
日本医療研究開発機構(AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	小児科学	河崎 裕英	講師	小児フィラデルフィア染色体(Ph)陽性ALLに対する標準的治療法の確立(以下「本研究開発課題」)	研究分担者	北海道大学 大学院医学研究院 小児科学教室 教授 真部 淳	—	—	—
日本医療研究開発機構(AMED)	認知症対策官民イノベーション実証基盤整備事業	精神神経科学	吉村 匡史	講師	安静時脳波により超早期認知症を検知・識別する人工知能の開発と検証	研究分担者	大阪大学 大学院 医学系研究科 教授 池田 学	1,500,000	450,000	1,950,000
日本医療研究開発機構(AMED)	革新的先端研究開発支援事業ユニットタイプ(AMED-CREST)	実験病理学	上野 博夫	教授	幹細胞システムに基づく4次元眼組織リモデリング機構とその破綻による疾患発症機序の解明	研究分担者	大阪大学 大学院 医学系研究科脳神経感覚器外科学講座(眼科学) 教授 西田 幸二	2,000,000	600,000	2,600,000

所管組織等	事業名等	講 座	氏 名	職 位	研究課題名	研究代表者/ 研究分担者	研究代表者、研究分担者、 共同研究者等	直接経費	間接経費	合 計
日本医療研究開発機構 (AMED)	難治性疾患実用化研究事業	内科学第二	高木 雅彦	診療教授	ブルガダ症候群における心臓突然死のリスク予測モデルの構築と診療応用のための研究	研究分担者	広島大学 大学院 医歯薬保健学研究科 循環器内科学 准教授 中野 由紀子	400,000	120,000	520,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	内科学第一	倉田 宝保	診療教授	局所進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するシスプラチン+S-I同時胸部放射線治療とシスプラチン+ペメトレキセド同時胸部放射線治療の無作為化第II相試験	研究分担者	国立がん研究センター 呼吸器内科 病棟 医長 仁保 誠治	100,000	30,000	130,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学	井上健太郎	准教授	切除不能進行・再発胃がんに対する個別化治療と最適化標準治療に関する研究	研究分担者	国立がん研究センター 消化管内科 医員 岩佐 悟	153,261	45,978	199,239
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学	海堀 昌樹	診療教授	認知症合併に対応した最適の治療選択と安全性の向上を目指した支援プログラムの開発	研究分担者	国立がん研究センター 先端医療開発センター 精神腫瘍学開発分野 分野長 小川 朝生	769,231	230,769	1,000,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	臨床病理学	蔦 幸治	教 授	未来のがん診療に資する革新的技術を導入したバイオマーカー測定の有用性を評価する大規模前向き観察研究	研究分担者	国立がん研究センター 呼吸器内科 医長 松本 慎吾	350,000	105,000	455,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	内科学第一	倉田 宝保	診療教授	高齢者非小細胞肺癌患者に対する抗がん薬のPK/PDに基づく個別化医療研究	研究分担者	国立がん研究センター 分子薬理研究分野 分野長 濱田 哲暢	500,000	150,000	650,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	内科学第一	倉田 宝保	診療教授	EGFR遺伝子変異陽性進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するゲフィチニブまたはオシメルチニブ単剤療法とゲフィチニブまたはオシメルチニブにシスプラチン+ペメトレキセドを途中挿入する治療とのランダム化比較試験	研究分担者	国立がん研究センター 呼吸器内科 副院長 呼吸器内科長 大江 裕一郎	300,000	90,000	390,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学	海堀 昌樹	診療教授	がん治療中のせん妄の発症予防を目指した多職種せん妄プログラムの開発	研究分担者	国立がん研究センター 先端医療開発センター 精神腫瘍学開発分野 分野長 小川 朝生	800,000	240,000	1,040,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	心療内科学	蓮尾 英明	助 教	がん患者の難治性神経障害性疼痛へのエビデンスに基づく標準的薬物療法の開発	研究分担者	近畿大学 医学部 内科学心療内科部門 准教授 松岡 弘道	90,000	27,000	117,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	医療分野研究成果展開事業 産学連携医療イノベーション創出プログラム (ACT-MS)	腎泌尿器 外科学	木下 秀文	准教授	ロボット支援手術における熟練技術習得型学習システム	研究分担者	大阪大学 准教授 安藤 英由樹	2,000,000	600,000	2,600,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	難治性疾患実用化研究事業	ゲノム解析	日笠幸一郎	教 授	ゲノム・転写物・代謝物を融合した統合オミックス解析による稀少難治性疾患の病態解明	研究分担者	京都大学 大学院 医学研究科附属ゲノム医学センター 教授 松田 文彦	1,000,000	300,000	1,300,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	難治性疾患実用化研究事業	ゲノム解析	日笠幸一郎	教 授	稀少難治性疾患克服のための「生きた難病レジストリ」の設計と構築	研究分担者	京都大学 大学院 医学研究科附属ゲノム医学センター 教授 松田 文彦	1,000,000	300,000	1,300,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学	海堀 昌樹	診療教授	革新的抗がんウイルス療法の実用化臨床研究	研究分担者	東京大学 医科学研究所 先端医療研究センター 先端がん治療分野 教授 藤堂 具紀	1,000,000	300,000	1,300,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	基盤技術開発プロジェクト	リハビリテーション 医学	長谷 公隆	教 授	下肢装具から脱却するためのリハビリテーションを支援する歩行介入エンジンの研究開発	研究分担者	株式会社国際電気通信基礎技術研究所 (ATR) 野田 智之	16,500,000	4,950,000	21,450,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	先端のバイオ創薬等基盤技術開発事業	医化学	小林 拓也	教 授	拡張結晶スポンジ法によるタンパク質の革新的分子構造解析	研究分担者	京都大学 高等研究院 物質-細胞統合システム拠点 (iCeMS) 准教授 藤田 大士	5,500,000	1,650,000	7,150,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学	関本 貢嗣	教 授	直腸癌局所再発に対する標準治療確立のための研究開発	研究分担者	国立がん研究センター 大腸外科 科長 伊藤 雅昭	-	-	-
日本医療研究開発機構 (AMED)	難治性疾患実用化研究事業	皮膚科学	神戸 直智	准教授	中條西村症候群患者検体/マウスでの解析	研究分担者	京都大学 iPS細胞研究所 准教授 齋藤 潤	1,000,000	300,000	1,300,000

所管組織等	事業名等	講 座	氏 名	職 位	研究課題名	研究代表者/ 研究分担者	研究代表者、研究分担者、 共同研究者等	直接経費	間接経費	合 計
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	内科学第一	倉田 宝保	診療教授	TCR多様性に基づく免疫チェックポイント阻害薬の治療効果予測に関する研究	研究分担者	国立がん研究センター 呼吸器内科 医員 吉田 達哉	259,186	77,755	336,941
日本医療研究開発機構 (AMED)	難治性疾患実用化研究事業	内科学第三	岡崎 和一	教 授	IgG4関連疾患の新規バイオマーカーと治療ターゲット開発に関する研究	研究分担者	京都大学 大学院医学研究科 内科学講座臨床免疫学 特命教授 三森 経世	1,600,000	480,000	2,080,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学	木川雄一郎	助 教	がん患者における患者報告アウトカム尺度開発に関する研究	研究分担者	神戸大学 医学部附属病院 腫瘍センター 特命准教授 清田 尚臣	-	-	-
科学技術振興機構 (JST)	戦略的創造研究推進事業 CREST	実験病理学	上野 博夫	教 授	多色蛍光コーディングと1細胞・in situイメージング法によるオミクスデータの検証	研究分担者	理化学研究所 ユニットリーダー 二階堂 愛	38,296,000	11,488,800	49,784,800
科学技術振興機構 (JST)	研究成果展開事業 A-step シーズ育成タイプ	神経機能部門	小早川令子	学 長 特命教授	害獣忌避剤のコントロールドリルス技術の開発	研究分担者	代表機関・ 株式会社カネカ	12,000,000	3,600,000	15,600,000
科学技術振興機構 (JST)	研究成果展開事業 センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム COI拠点「人間力活性化によるスーパー日本人の育成拠点」	精神神経科学	西田圭一郎 吉村 匡史	講 師	経頭蓋直流刺激(tDCS)による活性化	研究分担者	中核機関・ 大阪大学COI拠点	2,544,193	750,000	3,294,193
情報通信研究機構 (NICT)	高度通信・放送研究開発委託研究	リハビリテーション医学	長谷 公隆	教 授	脳機能補完による高齢者・障がい者の機能回復支援技術の研究開発 副題：外骨格ロボットと脳機能ニューロフィードバックによる身体および認知・感覚運動機能のICTを活用したリハビリテーションシステムの開発	研究分担者	代表機関・株式会社 国際電気通信基礎技術研究所 (ATR)	4,545,455	454,545	5,000,000
京大 (AMED補助金)	医療研究開発推進事業費補助金「橋渡し研究戦略的推進プログラム」	iPS・幹細胞再生医学	服部 文幸	研究教授	再生医療における委嘱細胞の組織融合を支援する総合移植システムの開発	研究代表者	—	2,250,000	250,000	2,500,000
京大 (AMED補助金)	医療研究開発推進事業費補助金「橋渡し研究戦略的推進プログラム」	呼吸器外科学	谷口 洋平	助 教	癌特異的マーカーPRAME の診断・治療への応用	研究代表者	—	2,500,000	-	2,500,000
東北大 (AMED補助金)	医療研究開発推進事業費補助金「橋渡し研究戦略的推進プログラム」	衛生・公衆衛生学	神田 靖士	准教授	結核感染における新規バイオマーカーを用いた診断キットの実用化	研究代表者	—	1,822,727	182,273	2,005,000
東北大 (AMED補助金)	医療研究開発推進事業費補助金「橋渡し研究戦略的推進プログラム」	iPS・幹細胞再生医学	松岡 由和	助 教	新規造血幹細胞マーカーを用いた造血幹細胞数測定キットの開発	研究代表者	—	1,822,727	182,273	2,005,000
岡山大 (AMED補助金)	医療研究開発推進事業費補助金「橋渡し研究戦略的推進プログラム」	衛生・公衆衛生学	保坂 直樹	研究員	健康寿命の延伸を目指した次世代医療橋渡し研究支援拠点	研究代表者	—	1,000,000	-	1,000,000
国立長寿医療研究センター (NCGG)	長寿医療研究開発費	薬理学講座	中邨 智之	教 授	高齢者特有の組織物性と環境に基づく皮膚創傷・脈管病変の診療体系の構築	研究分担者	国立長寿医療研究センター	450,000	-	450,000
国立精神・神経医療研究センター (NCNP)	精神・神経疾患研究開発費	神経内科学	近藤 誉之	診療教授	CXCR5陽性T細胞は重症筋無力症のバイオマーカーや治療標的となりうるか	研究分担者	国立精神・神経医療研究センター	500,000	-	500,000
門真市 (スポーツ庁事業補助金)	スポーツによる地域活性化推進事業(運動・スポーツ習慣化促進事業)	健康科学教室	木村 穰	教 授	医療と連携した地域における運動・スポーツの習慣化の実践 地域医療機関連院患者のサルコペニア予防、介入における運動習慣の実践	実施責任者	—	8,628,000	431,000	9,059,000
合 計								152,072,780	40,052,993	192,125,773

(単位：円)

その他外部資金

令和元年度研究助成金等受贈者(採択)一覧

令和元年度に募集のあった各種助成財団による研究助成金等を下記の研究者が贈呈された。

研究助成法人・団体等	受贈者	研究課題等	助成額等
公益財団法人 武田科学振興財団 2019年度医学系研究助成(基礎)	ゲノム編集部門 徳弘 圭造 学長特命准教授	新規近位依存性ビオチン標識酵素を用いたZP2結合タンパク質の同定	2,000,000
公益財団法人 武田科学振興財団 2019年度医学系研究助成(臨床)	形成外科学講座 覚道 奈津子 准教授	ヒト脂肪幹細胞を用いた新しい乳房再建術の確立	2,000,000
公益財団法人 武田科学振興財団 2019年度医学系研究助成 (精神・神経・脳領域)	生理学講座 安田 正治 講師	霊長類セロトニン神経系の光操作によるストレス下での行動制御機構の解明	2,000,000
公益財団法人フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団 2019年度研究助成	リハビリテーション医学講座 田口 周 助教	Mixed Reality 技術を用いた新たな認知機能課題の研究開発	500,000
公益財団法人明治安田こころの健康財団 第55回(2019年度)研究助成	小児科学講座 石崎 優子 准教授	地域の小児科医にできる里親・養親支援の方策の確立	500,000
一般財団法人杉山記念財団 平成31年度論文表彰制度	ゲノム編集部門 徳弘 圭造 学長特命准教授	論文題名: Glycan Independent Gamete Recognition Triggers Egg Zinc Sparks and ZP2 Cleavage to Prevent Polyspermy	750,000
公益財団法人住友財団 2019年度基礎科学研究助成	ゲノム編集部門 徳弘 圭造 学長特命准教授	マウス卵子表層顆粒局在分子の網羅的同定、およびその機能解析	2,000,000
公益財団法人小柳財団 2020年度研究助成	モデル動物部門 村山 正承 講師	皮膚疾患に対する善玉菌移植療法の開発を目指した、乾癬発症における'善玉・悪玉'細菌叢の同定と評価	1,000,000
公益財団法人上原記念生命科学財団 2019年度研究奨励金	モデル動物部門 村山 正承 講師	変形性関節症治療薬開発に向けた基盤研究	2,000,000
公益財団法人武田科学振興財団 2019年度ビジョナリーリサーチ継続助成 (ステップ)	神経機能部門 小早川 高 学長特命准教授	嗅覚創薬を司る分子実体の解明	10,000,000
公益財団法人武田科学振興財団 2019年度ビジョナリーリサーチ助成 (スタート)	医化学講座 寿野 良二 講師	GPCR-シグナルトランスデューサー複合体の構造情報に基づいた迅速で合理的な創薬技術の開発	2,000,000
公益財団法人武田科学振興財団 2019年度ビジョナリーリサーチ継続助成 (ステップ)	医化学講座 小林 拓也 教授	GPCRのオリゴマー化を標的とした新しい創薬展開を目指して	10,000,000
公益財団法人赤枝医学研究財団 2019年度研究助成	脳神経外科学講座 岩田 亮一 非常勤講師	脳転移開始細胞を標的とした新規がん治療法の開発	1,000,000
公益財団法人大阪コミュニティ財団 2020年4月助成「がん研究助成」	臨床病理学講座 石田 光明 講師	新規乳癌予後マーカーadipophilinの発現機序に基づく新規治療ターゲットの探索	500,000
公益財団法人大阪対がん協会 2019年度がん研究助成奨励金	臨床病理学講座 大江 知里 講師	腎癌の癌微小環境に関連する網羅的遺伝子解析とバイオマーカーの固定	300,000
公益財団法人大阪対がん協会 2019年度がん研究助成奨励金	呼吸器外科学講座 齊藤 朋人 講師	連続モニタリングによる肺癌・肺切除患者の病状回復プロセスの実態解明と早期社会復帰支援への活用	300,000

(単位:円)

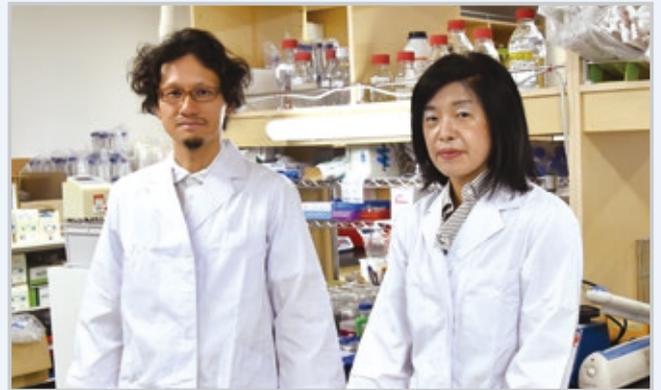
研究最前線

社会にもインパクトを与える大型研究。本学の研究者の活躍の一端をご紹介します。

匂いと脳のメカニズム

—嗅覚刺激が引き起こす恐怖情動による生命保護作用の解明—

附属生命医学研究所神経機能部門
小早川 令子 学長特命教授
小早川 高 学長特命准教授



小早川令子学長特命教授(右)、小早川高学長特命准教授(左)

—嗅覚についての研究を始めたきっかけを教えてください。

元々脳の情動に関する研究を進めている過程で、匂いによってマウスが強い恐怖情動を覚えることを偶然発見し、このことがきっかけで匂いに関する研究を始めました。

—研究について教えてください。

恐怖というのは情動の一つです。情動とは恐怖だけではなく例えば食欲や母性など、生存に欠かすことのできない本能を呼び起こす心の働きであり、ヒトや動物の行動を動機づける要因になります。その恐怖情動に、「生命保護作用」があることがわかりました。匂いによる先天的恐怖刺激が生死を決する生命保護作用を誘導するという予想外の現象を発見したのです。これまでは恐怖というものは生体に悪影響をもたらすものと考えられており、その恐怖に生命保護作用があるということは知られていませんでした。しかし進化の過程で恐怖は生命の保護に役立ってきたということがわかりました。

実験において恐怖の情動を引き起こす匂いをマウスに嗅がせると、本来は10分程度しか生存できないような低酸素状況下でも、3時間程度生存するといったことが起きました。

野生の環境ではヘビなどがネズミを捕食する際、始めに首を絞めるなどして意識を失わせます。これは被捕食者側からすると脳に酸素がいかない、もしくは酸素が少ない低酸素環境といえます。まぎれもない生命の危機ですが、恐怖の情動を引き起こす匂いを嗅ぐことにより冬眠様状態が誘導され、低酸素環境下でも一定時間生存できることがわかりました。

また、天敵の匂いに対するマウスの忌避行動が先天的に決められていることを世界で初めて実験的に証明しました。ある実験からは、鼻の奥にあり匂いを感知している嗅覚細胞の一部を除いたマウスは先天的な忌避行動を示さなくなることが判明しました。さらに、これまで匂

いに関する主な反応を担うと考えられてきた嗅球以外にも、三叉神経と迷走神経が匂い分子に対して重要な役割を果たすことがわかりました。複数のセンサーからの情報入力がある方が脳はより正確に判断、より適切な対応ができます。つまり、より強力な生命保護作用がもたらされると考えています。

—今後の展望について教えてください。

匂いによる生命保護作用がヒトにも同様に働くかは未解明です。また、一方で匂いによる免疫の活性化が可能であることもわかってきました。ヒトとマウスでは受容体遺伝子の活性化の方法が異なるため、より詳しいメカニズムの解明を進めているところです。

特定の匂いにより免疫を強化することができれば、ヒトが元々持っている生命保護作用を強化し、菌やウイルスに対抗すること、また例えばがん細胞を消滅させるというようなことも将来的に可能になる可能性があります。つまり嗅覚創薬の可能性です。嗅覚創薬は、感染により免疫が暴走しサイトカインストームと呼ばれる状態を引き起こし死に至ることもある敗血症にも効果があるのではないかと考えています。

—ご夫婦で研究されているメリットについて

匂いとそれを処理する脳のメカニズムに関する研究はまだまだ新しい分野です。既にネズミの忌避剤などは実用化しましたが、研究のヒトへの応用は進んでいません。ヒトへの応用が進めば、この分野の研究を行う人も増えてくるのではないかと思います。また開拓中です。研究の過程では非常に多くのことが新たにわかってくるので、それを一つひとつ検証する必要があります。世界的

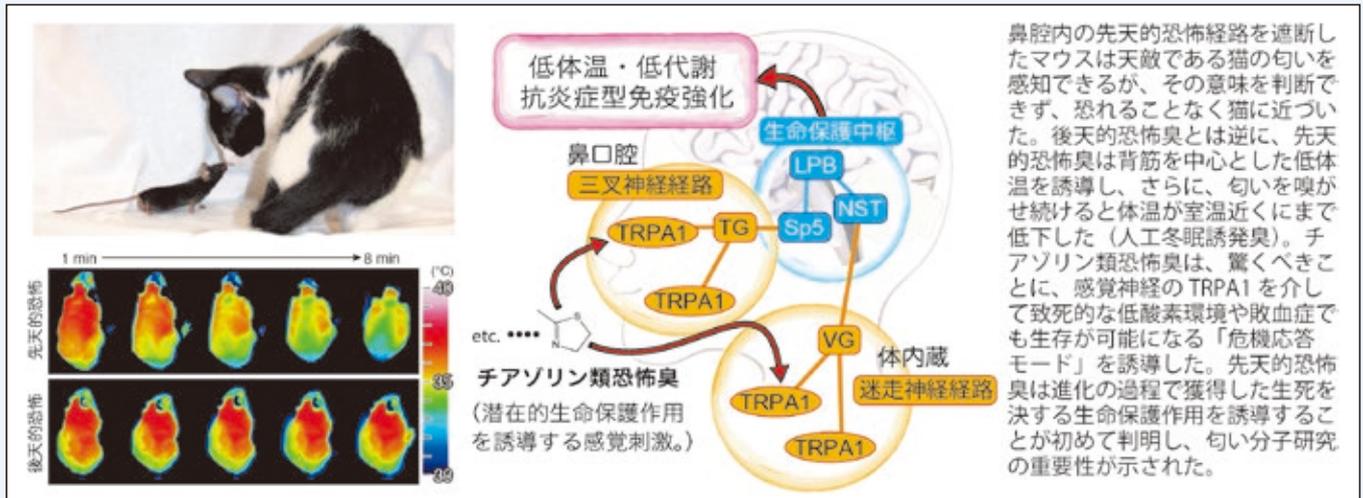
に同じような研究をしている人がほばいないので、開拓していくにあたって相談しながら二人で進めていけることは強みだと思います。

なことをしているように思われるかもしれませんが、想像の範囲を超えた治療方法へのアプローチにつながると思います。研究を続けてくれる学生さんが一人でも増えると、よいと思います。

※この記事はインタビューをもとに再構成したものです。

—後輩へのメッセージを

研究というと、実際の臨床の診察からは離れた基礎的



■主な競争的研究費採択歴

- 2018・2019 科学研究費助成事業新学術領域研究(研究領域提案型)
「低体温と低酸素抵抗性を伴う生体保護代謝アダプテーションの解明」
- 2016・2017・2018 科学研究費助成事業 基盤研究(A)
「恐怖行動を誘発する嗅覚受容体遺伝子の解明」
- 2017 科学技術振興機構(JST)研究成果展開事業 A-step シーズ育成タイプ
「害獣忌避剤のコントロールドリリース技術の開発」

関西医科大学在職中(2015年4月~2020年3月)における

「匂いと脳のメカニズム」に関連する研究により獲得した競争的研究費総額

【総額】 266,730,000円

- 研究費内訳 1. 文科省科研費: 93,730,000円 2. JST: 68,900,000円
3. その他(私学助成金等) 104,100,000円

■略歴

小早川 令子	小早川 高
1995年 東京大学工学部化学生命工学科卒業	1996年 東京大学理学部生物化学専攻卒業
2000年 東京大学大学院理学系研究科生物化学専攻博士課程修了	2002年 東京大学大学院理学系研究科生物化学専攻博士課程修了
2000年~ 東京大学大学院理学系研究科生物化学専攻博士研究員	2002年~ 東京大学大学院理学系研究科生物化学専攻博士研究員
2007年~ JSTさきがけ研究員	2009年~ (公財)大阪バイオサイエンス研究所研究員
2009年~ (公財)大阪バイオサイエンス研究所室長	2009年~ JSTさきがけ研究員
2015年~ 現職	2016年~ 現職

■所属学会・研究会(役職・資格等)

小早川 令子 日本神経科学会 小早川 高 日本神経科学会

令和2年度「藤森民子賞」贈呈

6月6日(土) 14時から枚方学舎医学部棟4階中会議室で行われた「e-新入生歓迎式」では、最後に医学部入学試験(一般前期)の最優秀成績者に贈られる奨学金、「藤森民子賞」の授賞式が合わせて執り行われました。これは、本学同窓生藤森民子氏(13回生)の篤志によって設立された賞で、今年度受賞者の月川風太さんにはこの日、学長から賞状と副賞の目録が贈呈されました。



友田学長(右)と握手する月川さん(左)

チェンマイ大学看護学部と学術交流協定締結

6月、本学看護学部とチェンマイ大学看護学部(タイ国)は新たに学術交流協定を締結しました。

チェンマイ大学はタイ国北部のチェンマイ県に位置し、1964年にタイ国の古都である地方都市チェンマイで初めて設立された国立大学で、現在は17の学部と3つの研究所があり、学生総数36,000人を擁する総合大学です。看護学部は1967年に開設され、現在の総学生数は1,300人です。また、タイ国では初となるWHOコラボレーションセンターを有しています。

看護学部国際交流委員会と本学国際交流センターが窓口となりこの度の協定締結に至りました。

今後は教職員・留学生の受け入れや本学からの派遣、教職員の能力開発、教授招聘、共同研究の実施、講義やセミナーの提供、研究データや資材・学術データの共有などを通じ、相互の学術的な交流を発展させていく予定です。



署名した協定書を手を持つ片田範子学部長

大阪乳児院との連携事業でオンライン教室開催

本学と大阪乳児院との連携事業として「ママ・パパクラス」をオンライン開催しました。これは、本学が大阪乳児院と2019年度から共同連携事業として展開している大阪乳児院産前産後支援事業「おくるみ」に基づくもの。新型コロナウイルス感染の拡大により自粛が相次ぐなか、周産期施設、自治体や保健所などによる集団援助や健診事業が中止となっていることを受け、出産や育児に対する不安感や負担感を募らせている妊婦さんやその配偶者の不安を解消すべく、看護学部母性(助産)看護学領域の教員が中心となり開始しました。「どきどき妊婦クラス」「わくわく妊婦クラス」「出産準備クラス」「ママ入門クラス」の4種が5月から開講されています。

また、妊娠・出産について自身で相談や受診をすることが困難である方を対象とした「ホットライン」を開設しました。予期しない妊娠や経済的困窮、社会的孤立、DV、若年などの様々な背景を抱えた妊婦さんの不安を解消すべく、関西医科大学プロジェクトマネージャーおよび大阪乳児院「おくるみ」プロジェクトマネージャーがホットラインに対応しています。

病 院

総合医療センター 最新式のドクターカーが運用開始

3月31日(火)、総合医療センターに新しいドクターカーが導入され、翌4月1日(水)から運用が開始されました。これは大阪府内在住の篤志家により「救命医療に役立てて欲しい」との思いから寄贈されたもので、総合医療センターでは2台目の導入となりました。

今回導入されたドクターカーには人工呼吸器や小型エコー(超音波診断装置)、防振ベッドなどの最新設備が導入されており、車両内で患者さんに最適な処置を行えるよう設計されています。また、ドクターカーが2台に増えたことで患者さんの他病院への搬送や受け入れがスムーズになり、地域の医療拠点として一層大きな役割を果たすことが可能になりました。

さらに、災害発生時にはDMAT(災害派遣医療チーム)の派遣車両として、車内電源や物資保管スペースも確保されており、被災現場や搬送支援で活躍することが期待されています。



今回導入された最新式のドクターカー

学会主催報告

2020年4月～6月、本学が主催および事務局を務めた主な学会を紹介いたします。

第30回日本サイトメトリー学会学術集会

■会期 2020年5月30、31日 ■場所 関西医科大学枚方学舎(誌上開催)

■テーマ 「AI時代におけるサイトメトリー」

新型コロナウイルス感染症の影響で、やむを得ず誌上開催しました。メインシンポジウムとして「次世代細胞認識・追尾システムの幕開け」を配し、その中でインテリジェントサイトメトリー、CyTOFマウスサイトメトリー、自動細胞追尾システムのそれぞれの開発および応用の第一人者が発表をされました。特別講演3題、シンポジウムとして「固形癌のサイトメトリーと細胞解析」「癌免疫のサイトメトリーと細胞解析」「再生医療のサイトメトリーと細胞解析」「造血器腫瘍のサイトメトリーと細胞解析」の4セッションを配し、それ以外に一般演題のセッション5つを企画しました。誌上開催にもかかわらず、多くの会員の方が参加登録をしてくれました。

【学術集会会長：脳神経外科学講座 浅井 昭雄 教授】

【学術集会副会長：実験病理学講座 上野 博夫 教授】



学会受賞等情報

2020年4月～6月の学会受賞者を紹介します。

令和元年度腸内細菌学会研究奨励賞

小児科学講座 赤川 翔平 助教

■テーマ Effect of Delivery Mode and Nutrition on Gut Microbiota in Neonates (分娩様式と栄養方法が新生児の腸内細菌叢に及ぼす影響)

■授与学会 腸内細菌学会



会長賞

放射線科学講座 中谷 幸 助教

■テーマ Analysis of factors influencing accuracy and complications in CT-guided lung biopsy

■授与学会 第79回日本医学放射線学会総会



2019年度 日本膀胱学会奨励賞

外科学講座 小塚 雅也 研究医員

■テーマ 腹膜転移を有する膀胱癌に対してS-1+paclitaxel経静脈・腹腔内投与併用療法後にconversion surgeryを施行し長期無再発生存が得られた1例

■授与学会 第51回日本膀胱学会



お知らせ

関西医科大学教員の任期に関する規程の一部改正と 同教員の審査に関する施行細則の制定について

本学の中期計画でも掲げられている教員の任期制と再任評価・審査システムの導入(以下、「任期制」という)について、「関西医科大学教員の任期に関する規程」の一部改正と「同教員の審査に関する施行細則」を新たに制定することにより、令和3年4月1日以降の発令日で新規採用されるすべての教員を対象に任期制を導入することになりました。1期5年で、再任評価を経た上での更新は原則2期まで、以降は無期雇用となります。また、看護学部およびリハビリテーション学部所属の教員については、それぞれの学部において完成年度を迎えた後に採用された教員から対象となります。なお、現在在職中の教員および令和3年3月31日までの発令日で採用される教員については本規程の対象とはなりません。

令和2年度は本規程の周知徹底期間としております。規程および評価システムの詳細については、KMUNet「通達文書(最新版)」(学内からのみ閲覧可)から閲覧もしくは人事部人事研修課へ直接お問い合わせくださいますよう、よろしく願いいたします。



教職員メディア情報

新聞・雑誌などの取材を受け記事が掲載された、あるいはテレビ・ラジオなどに出演した教職員ほかを紹介します。

(主に2020年4月1日～6月30日 ※判明のみ)

眼科学講座 高橋 寛二 教授	読売新聞 夕刊 (4月1日)	連載企画「[医なび]において、眼精疲労の発症原因や症状、治療法、注意すべき点について解説し「疲れ目と放置せず、眼科で診てもらいましょう」とのコメントが掲載されました。
衛生・公衆衛生学講座 西山 利正 教授	朝日放送「キャスト」 (4月3日)	スタジオに出演し、新型コロナウイルス感染症に関連して大阪府における感染拡大の現状と医療崩壊の可能性、緊急事態宣言の必要性などについて、コメントしました。
精神神経科学講座 木下 利彦 教授	毎日放送「医のココロ」 (4月4日)	「認知症って何ですか?」をテーマに認知症と物忘れの見分け方を解説。食事に気を付けて規則正しく生活するようアドバイスした他、急激に症状が悪化する場合は認知症以外にも高齢者てんかんやせん妄の可能性があると指摘し、医療機関を受診して専門医の判断を仰ぐようコメントしました。
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 朝子 幹也 准教授	読売新聞 夕刊 (4月8日)	新型コロナウイルス感染者が増えつづいた3月下旬から、外来診療の際にフェイスガードや医療用手袋、キャップを着用し、白衣に使い捨ての上着を重ねるなど、厳戒態勢で臨んでいたこと、「(医療崩壊を防ぐため)最善を尽くしたい」とコメントしたことが紹介されました。
衛生・公衆衛生学講座 三島 伸介 助教	朝日新聞 朝刊 (4月10日)	新型コロナウイルスの感染力について取材を受け、感染者の便からもウイルスが検出されることからトイレ後の手洗いが重要であること、ウイルスが数日間におたつて環境中で生存する可能性があることなどを指摘し、コメントしました。
衛生・公衆衛生学講座 西山 利正 教授	日本経済新聞 朝刊 (4月23日)	休業要請に応じない施設の名称を公表すると大阪府の方針について「事業者の名前を公表することで、営業を続けていた店が休業すれば防疫上の意味がある」と述べたコメントが掲載されました。
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 朝子 幹也 准教授	読売新聞 朝刊 (4月24日)	連載企画「[医の現場]」において、花粉症の治療法として近年注目を集める「舌下免疫療法」の詳細や、その効果を解説した記事が掲載されました。
精神神経科学講座 嶽北 佳輝 講師	毎日放送「医のココロ」 (4月25日)	「認知症かどうかってどのように調べるの?」を題材に、どのような検査を受けるのか解説。「(認知症は患者さん)自身で気づくのは難しい病気で、自分で判断せず周りの意見を基準にして、かかりつけ医を受診することを進めるなどのコメントが放送されました。
内科学第一講座 宮下 修行 診療教授	関西テレビ「報道ランナー」 (5月4日)	スタジオに出演し、新型コロナウイルス感染症の感染者数推移や治療薬の候補「レムデシビル」、新しい生活様式などについて、医学的な観点からコメントしました。
眼科学講座 高橋 寛二 教授	読売新聞 夕刊 (5月11日)	ウェア会議などの増加に伴う眼精疲労を取り上げた記事の中で「パソコンなどを利用する際は1時間ごとに10～15分休憩する」といった対策を挙げ、症状が改善しない場合は早めの受診を推奨するコメントが掲載されました。
外科学講座 吉岡 和彦 理事長特命教授	毎日新聞 朝刊 (5月13日)	読者からの病気に関する質問に回答する連載企画「きょうのセカンドオピニオン」に登場し、自らの意思に反して便が漏れる「便失禁」の原因や治療法、2014年から新たに保険適用となった「仙骨神経刺激療法」などを解説しました。
内科学第一講座 宮下 修行 診療教授	関西テレビ「報道ランナー」 (5月14日)	別室からリモート出演し、新型コロナウイルス感染症に関する大阪府の「大阪モデル」に基づいた一部休業要請解除について、任意でアドレスを登録するQRコードを使った追跡システムや、飲食店・パチンコ店でのクラスター対策、第二波に備えるための基準についてのコメントが放送されました。
内科学第一講座 宮下 修行 診療教授	関西テレビ「報道ランナー」 (5月15日)	別室からリモート出演し、新型コロナウイルス感染症に関する大阪府の休業要請一部解除について解説。また、大阪府独自の営業再開ガイドラインを医学的に評価した他、飲食店、遊技施設、スポーツジム等における感染予防策、第二波に備えるための基準についてコメントしました。
内科学第一講座 宮下 修行 診療教授	関西テレビ「報道ランナー」 (5月18日)	スタジオに別室からリモート出演。新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言解除後域内のスポーツジムが行った感染予防策への医学的評価や、熱中症増加による医療現場混乱リスク、プロスポーツイベントの再開可能性などについてコメントしました。
衛生・公衆衛生学講座 西山 利正 教授	毎日放送「ミント!」 (5月11日)	スタジオに別室から遠隔出演し、大阪府での休業要請解除後の街の変化や、緊急事態宣言が解除された39限の様子などにコメントした他、出演したコメンテーターからの質問に回答しました。
衛生・公衆衛生学講座 西山 利正 教授	毎日放送「ミント!」 (5月19日)	スタジオに別室からリモート出演し、新型コロナウイルス感染症に関して抗体検査の目的と意義、検査方法、必要な時間や精度について解説した他、コメンテーターからの集団免疫に関する質問に回答しました。
健康科学教室 木村 穰 教授	NHK「ニュースはっと関西」 (5月19日)	心臓病の治療後に行われる心臓リハビリテーションについてリモート取材に応じ、新型コロナウイルスの影響から多くの施設でリハビリが中止されていることに対し「運動が継続できないと症状の悪化や再発の恐れが高くなる。心疾患や慢性疾患が増えるのではないかと懸念している」とのコメントが放送されました。
内科学第一講座 宮下 修行 診療教授	関西テレビ「報道ランナー」 (5月20日)	スタジオに別室から遠隔出演し、大阪府・京都府・兵庫県における緊急事態宣言解除の可能性や抗体検査の是非、各国で進む治療薬・ワクチンの開発状況についてコメントしました。
附属生命医学研究所ゲノム解析部門 三澤 計治 講師	朝日新聞 朝刊 (5月20日)	東北大学などとの共同研究の結果、腎臓で働く特定のたんぱく質の変異から尿酸値を左右する新たな遺伝的要因を発見したことが紹介され、「体質に合わせた医療実現への一歩になる」と述べたコメントが掲載されました。
内科学第一講座 宮下 修行 診療教授	関西テレビ「報道ランナー」 (5月21日)	別室からリモート出演し、緊急事態宣言解除後の新型コロナウイルス感染症に対する感染予防策や、接待を伴う飲食店でのクラスター対策についてコメント、解説しました。
衛生・公衆衛生学講座 西山 利正 教授	毎日放送「ミント!」 (5月25日)	別室からリモート出演し、新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言の全国的な解除を受けた街の変化、大阪モデルや神奈川県が打ち出した新たな指標、飛沫防止パネルを用いたライブハウスの様子、スポーツ施設の感染予防策についてコメントしました。
内科学第一講座 宮下 修行 診療教授	関西テレビ「報道ランナー」 (5月25日)	スタジオ出演し、新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言が全国的に解除される見通しを受けて、解除判断の医学的根拠について解説した他、今後の感染予防対策のポイント、大規模イベント実施における注意点を紹介しました。
衛生・公衆衛生学講座 西山 利正 教授	毎日放送「ミント!」 (5月26日)	スタジオに別室から遠隔出演し、新型コロナウイルス感染症に関して、教育現場での感染予防策についてコメントした他、医療機関での標準予防策の重要性、一般の生活者が気をつけるポイント、蚊による感染媒介の可能性、治療薬開発に関する報道について解説しました。
内科学第一講座 宮下 修行 診療教授	毎日放送「ミント!」 (5月27日)	別室からリモート出演し、新型コロナウイルス感染症で亡くなった方の遺品整理や、段階的に行動制限を解除するにあたって医療崩壊を防ぐためのポイントを解説した他、今後気温や湿度が高くなる夏の注意点についてもコメントしました。
内科学第一講座 宮下 修行 診療教授	関西テレビ「報道ランナー」 (5月28日)	スタジオ出演し、新型コロナウイルス感染症に関する大阪府の休業要請解除について解説。また、大阪府独自の営業再開ガイドラインを医学的に評価した他、スポーツジムやラウンジにおける感染予防策、九州地方での感染者再増加についてコメントしました。
衛生・公衆衛生学講座 西山 利正 教授	朝日放送「キャスト」 (5月29日)	別室からリモート出演し、新型コロナウイルス感染症に関して関西での様々な施設の営業再開を受けて、屋外・屋内施設での注意事項をコメントした他、追跡システムに関するコメンテーターからの質問に回答しました。
衛生・公衆衛生学講座 西山 利正 教授	朝日放送「おはよう朝日土曜日です」 (5月30日)	スタジオ出演し、新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言解除後の自衛要請解除の妥当性などについて解説し、次亜塩素酸水の空中噴霧の有害性について注意喚起しました。また、夏の流行についてコメントした他、出演したコメンテーターからの質問に回答しました。
衛生・公衆衛生学講座 西山 利正 教授	毎日放送「ミント!」 (6月1日)	別室からリモート出演し、新型コロナウイルス感染症に関して教育現場における感染予防策、海外旅行などの際は疲労から免疫が下がって感染しやすいこと、梅雨時期のエアコン利用時の換気の大切さ、咳エチケットの重要性などを解説しました。
衛生・公衆衛生学講座 三島 伸介 助教	毎日放送「ミント!」 (6月2日)	別室からリモート出演し、新型コロナウイルスに対する各種消毒薬の有効性に関して、台所用洗剤などに含まれる界面活性剤が有効であることや、次亜塩素酸水の空間噴霧が有効性と安全性について未確認であることを解説した他、出演したゲストからの質問に回答しました。
衛生・公衆衛生学講座 西山 利正 教授	読売新聞 朝刊 (6月12日)	大阪市生野区の病院で発生した新型コロナウイルス感染症の集団感染について、厚生労働省のクラスター対策班がまとめた調査報告書の内容を踏まえ、標準予防策の徹底や病院を守るために必要な工夫に関して述べたコメントが掲載されました。

※このコーナーは主要な放送局、新聞、雑誌の掲載情報が対象ですが、研究成果に関する記事は、その限りではありません。

編集後記

蝉の声が聞こえる季節がやってきました。いつもの光景とは少し異なり人々の口元にはすっかり見慣れたマスクが定着しているようです。とはいえ今年もまたうだるような暑さの予感に、熱中症の危惧もあります。太陽のエネルギーに満ちたこの季節を、健康に過ごしたいと思う今日この頃です。(M)

関西医科大学広報 Vol.50

発行 学校法人 関西医科大学

編集 広報戦略室

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1 TEL 072-804-0101(代表)

FAX 072-804-2638

http://www.kmu.ac.jp/

E-mail: kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

2020年9月1日(火)発行